

犬の性欲は飼い主が責任をもって処理しましょう！ ～ふたなり美少女犬のしつけ、失敗～

第1話 タッチング

☆ドアが開く音を聞いて、玄関に駆けってくるポチ。足音を弾ませて「ご主人」に近づき、屈託のない笑顔で飛びつく。

(00:06)

あ、おっかえりい〜っ、ご主人っ、わんわん！ あのねあのねっ、ご主人、ポチね、「かぎ」が開く音聞いて、ご主人が帰ってきたってわかったんだー、かしこいでしょ、人間みたいでしょ、えへへー。ねえねえご主人っ、かしこい名犬ポチになでなでして〜、あっ、それで、腕にぎゅーってしちゃうぞ、ぎゅー！

☆うきうきとした足取りで、「ご主人」の手を引いて部屋へ導くポチ。部屋は人間の目からするとめちゃくちゃに散らかっている。

(00:41)

わーい、今日もご主人だっ、あっそうだ！ あのねポチねー？ ご主人、どうしたら喜んでくれるかなーって思って、「おりょうり」したんだー……うん、だって、犬だったときに食べてたの、今食べたらおいしくなくて、それでご主人が作ってくれるごはん食べていっつもおいしくて、それでポチ、ご主人が作るの見てたからしょうずにできたんだよ、来て来て〜……じゃーんっ！ どう？ すっごいでしょー、ポチのことも一つとよしよししたくなったでしょ〜……あれ？ ご主人？

☆「ご主人」の怪訝な表情を悟ると、ポチは途端に尻尾を垂らしてうつむく。泣きそうに声を震わせ、まとまらない言葉で釈明する。

(01:34)

ご主人、どうしたのっ、お顔、怖いかも……も、もしかしてポチ、「しっぱい」しちゃった？ でも、でも、食べたらおいしくて、あの、ポチ、まだ人間の身体に慣れてなくて、手をグーしたりパーしたり、飛んだり跳ねたりするとすぐふらふらしちゃうし、それでそれでっ、うう、くう〜ん……ご主人、人間は、わるいことしたら、ごめんなさい、って言うんだよね？ ポチ、もう人間だから、ごめんなさい〜……

☆ポチの垂れた頭を、「ご主人」の手の平が覆う。髪の毛をかき撫でる手つきにポチの表情はぱっと明るくなり、飛び跳ねて喜ぶ。

(02:33)

ん、んっ、ご主人、ポチの頭、あっ、耳までわしゃわしゃ〜、って、きゅふんっ、わん、わふう！ ゆ、許してくれる？ ポチのことくらいにならない？ ……うん、これからは、ご主人の見てるとこ

ろで「れんしゅう」するねっ！ わふう～ん、ご主人だいすき、ご主人のおてて、すきすきすき～っ、もういっかい、ぎゅーっ！

☆団欒もそこそこ、「ご主人」の感触を楽しんでいたポチの声に、突如艶っぽいものが混じる。鋭利な犬歯が光り、ポチは「ご主人」の前にしゃがみこむ。

(03:15)

ぎゅー、すりすり、すりすりすり、す～りすりい、くーん、きゅふうん……ふっ！？ ふうう、うう、っ！ ご主人、えへへ、ご主人、んっ。ポチ、ポチねっ、えっと、ポチ、まだ「しっぱい」しちゃうから、犬のときみたいに、「しつけ」してほしいな♡ んしょ、はい、ご主人……ポチ、ご主人の前におすわり、両足揃えておててついて、おすわり、したよ！

☆耳と尻尾以外の部分はまったく人間と相違ないポチが、犬が芸を披露する要領で「ご主人」に忠誠を示す。その一方で、抑えきれない熱情が、ポチの両足の間で脈動する。

(04:09)

えへ、え～、命令して、ご主人、ポチがおりこうな犬だって、ご主人に見てほしいよお♡ うんっ、お手っ。それから、反対の手で、おかわり！ おてて戻して、おすわりい……あっ、きゅん、きゅんっ、ポチ、ポチがまんできないよおっ、でもかしい犬だから、待て！ 待て、して、ふっ、ふううう……そ、それでっ、ご主人、命令して～？ あの、かわいー姿勢、ご主人に見せ見せする命令、だよ、それじゃあ、お手～、おすわり～……

☆待ちに待った命令に、甘く吠えて「ご主人」への忠誠を示すポチ。そのあどけない顔には似つかわしくない肉の膨らみが、ズボンの股間にくっきりと形を浮かべている。

(05:13)

ちんちんっ♡ わっ、わお、わお～んっ、ん♡ へっへっへっ、ご主人、ああご主人が見てるっ♡ ポチの、「むぼうび」な、おちんちん、びんっ♡ わんっ、わふっ、ご主人がくれた大切なお服、むっくり膨らませてお股のところっ♡ わうう～……女の子の、メス犬だったのに、人間になったら生えてきちゃった、ヒトオスおちん、ちん♡ んふっ、ポチ、がまんするよ、命令ちゃ～んと聞ける犬だから、おちんちんびくびく動いちゃうけど、ねっ、おててはしっかり持ち上げて、おちんちん見せびらかし、ちんちんポーズう～♡

☆ポチは妖しく腰を前後させ、上気した表情で「ご主人」を見つめる。「ご主人」の手が隆起に触れると、思わず歓喜に喉を震わせてしまう。

(06:16)

あうっ、ふうっ♡ ご主人♡ 「おせわ」して、おちんちんお世話してして、わあん♡ わふっ♡ あうあう、ポチ腰がかくかくしちゃうっ、わかんない、わかんないけどかく♡ かく♡ おちんちんがおちんちんがっ♡ そうしたほうがいいよって教えてくるよお♡ ふーっ♡ ご主人♡ 出してええ♡ はっ、

はっ♡ おちんちんのよだれでっ♡ おぱんつぬるぬるになっちゃうの、人間のお服難しいから、ポチ自分でおちんちん出せないの……うひっ♡ う～～、やったっ♡ ご主人の、手え♡ ポチのおちんちん、触ったわんっ♡

☆待ちきれないといった様子で、ポチのペニスが飛び出す。無垢な皮被りのフォルムとは裏腹に、ペニスの先端は油じみた艶に輝いて興奮を表す。

(07:14)

えへっ、お服から出したほうが、「ろしゅつ」しちゃってからのほうが、きもちいいもんねっ♡ ご主人やっぱりポチよりかしこい、わふっ♡ うん、うん、チャック降ろして、おちんちんお外出る、わっ、わうう～っ♡

☆まろび出たペニスに、まるで兄弟のように話しかけてみせるポチ。無邪気さと上下関係への執着が見え隠れする。

(07:39)

はっはっ♡ はっはっはっ♡ わっ、わあっ、出ちゃった、ポチのおちんちん、わお～、んっ♡ 犬のおちんちんとはやっぱり違う、ねっ？ 先っぽまで、えへへ、す～っぽりお帽子かぶってるのに、「ほうひ」のすきまからおつゆがとぷとぷ♡ ご主人に会えて、涙流して喜んじゃってる♡ でも、がるる……ご主人はっ、おちんちんのじゃなくて、ポチのご主人なんだからなっ♡ おちんちんよりポチのほうが偉いんだぞ♡ わかった？ わう、見てご主人っ♡ ぴくぴく、うんうん頷いて、かしこいおちんちんなんだ♡

☆犬の本能と人懐こさゆえか、屈託なく自らのペニスで芸をしてみせるポチ。何も疑わない様子と行為のいやらしさが相まって、背徳的な空気を漂わせる。

(08:38)

ほらご主人、おちんちんがかしこいの見せてあげる、おてて出して、わんっ♡ いくぞー、おちんちんっ♡ 右手で、お手♡ 左手で、おかわり♡ んっ、んうんっ、そしたらそしたら、お尻前に出して、ご主人のおててに、おちんちん、ぺちっ♡ はっ、はっ、はあっ♡ あ、あ♡ ご主人の手の平の上に、ぼてって寝っ転がってる、ポチの白～いおちんちん♡ ご主人ご主人♡ わんっ♡ ご主人はポチのご主人だから、特別♡ ポチのおちんちん、握ってもいいよ♡ ほらほら手の平丸めて、ぷにぷにおちんちん、ぎゅ～っ……♡

☆ペニスを備えた身体が嬉しくてたまらない様子で、ポチは肉根をいきり立たせる。「ご主人」をからかうのではなく、芸を見せて褒めてもらえると純粋に思っている。

(09:45)

な～んて、ご主人には捕まらないよ、おちんちん、ぴこっ♡ きゅ、きゅふ～んっ♡ どう、ご主人、ポチすごいでしょ♡ 触らなくても、おちんちんぐいっ♡ ってお腹のほうに持ち上がっちゃうんだっ

♡ ポチ、おちんちんってお肉でできたしっぽみたいって気づいたの♡ だからしっぽと同じ、うえ～♡ した～♡ ぶんぶん、へっ、へっ♡ あっあっでもご主人、こっちは、おちんちんの下でぶらぶらしてるの、逃げられないから、捕まえて～♡

☆陰囊に触れられ、毛づくろいを受けたときのようにはしゃぐポチ。無邪気な声とたっぷりと中身の詰まった陰囊の対比が淫らしく映る。

(10:35)

おっ、おおんっ♡ わおっ、わふ～っ♡ 「きんたま」握られちゃったっ、このたふたふした袋、みたいな、脚の真ん中にぶら下がってるやつ、わふうっ♡ ご主人が、ポチのキンタマ、さわさわ、むにむに、にぎにぎ♡ ってえ、えへへ、ご主人が教えてくれたんだっ♡ キンタマ♡ のお、袋の中には、赤ちゃんを作るすごいミルクが入ってるんだよね♡ んお、っふ♡ そ～んな、ポチの大事なキンタマ袋♡ 捕まえちゃうなんてご主人はやっぱすごい、ぞっ、んん、わうっ♡

☆ポチは一層跳ね回り、明白に興奮を表しているペニスにも愛撫を求める。人間に飼いならされた動物のいびつな本能が声を弾ませる。

(11:26)

あれっ、あれれっ、んう～、っん♡ はっはっ、はあっ♡ ご主人のお指につ、もちもちキンタマのお皮がへばりついて、揉まれちゃってるのに、おちんちんぴん、ぴん、わうんっ♡ 肉しっぽがも～っ♡ と元気に「ぼっき」しちゃって、止まんないよお、お～んっ♡ ご主人ご主人っ、ポチのわるい子おちんちん♡ にも、しつけして、犬のときみたいに、首輪♡ つけて、ねーっ♡

☆「ご主人」の手を肉竿に感じた瞬間、軽く仰け反るポチ。鮮烈な淫感に苛まれる中でも姿勢を崩さないことが、忠誠の証だと思っている。

(12:08)

ん、わうーっ、わうう、んぐっ♡ ご主人の手が丸まって、おちんちんに巻きついて……ポチ、背中、びくん♡ って、びりびりしちゃったあ♡ どうだ♡ おちんちんさん、ご主人のおてては、あふっ、あったかくて柔らかくて、すごいだろ～っ♡ んっ！ おちんちんさんみたいなびくびく跳ねちゃうわるい子は、ご主人におしおき、うわ、あうっ♡ されちゃうんだから、ねっご主人♡ ポチ、ちゃんとおすわり♡ おてて床についてお行儀良くしてるから、おちんちん、おちんちん♡

☆ポチはあどけなくも甘ったるい声で、「ご主人」に淫猥な刺激をせがむ。欲求の正体にはまだ気づかないポチだが、その激しさを体感して、ペニスは硬く屹立する。

(13:02)

はっはっはっ♡ がるるる、う～、っふっ♡ あっあっ、ポチのおちんちんから飛んだお汁が、ご主人の手にひっついてにゆるにゆる♡ わっ、わうっ、先っぽ♡ あ～、先っぽの皮が濡れてふやふやになっ、てっ、ううう、剥け、ちゃうんだっ♡ うう～おちんちん硬いっ、わんっ、ねーねーご主人、

剥いて、剥いてポチのおちんちん、剥いてえ♡ わふっ、でもっ♡ 剥けちゃったらもう、おちんちんじゃない、よねっ、ねっ♡

☆赤熱した亀頭が露出すると、ポチの嬌声に濁った音が混じる。野性をペニスに滾らせて、立てた膝が暴れ出しそうに震える。

(13:52)

えへっ、えへへ、「オチンポ」、オチンポ、だよっ、そう、ポチのむくむくオチンポ、わおお～っ♡ だって、だってオチンポだから、もう先っぽ出てきちゃうっ、ふーっ、ふう、～っ♡ 段差乗り越えて、お皮が、ずるうっ♡

(14:18)

うっ、うぐっ、ぐるるるっ、ぐう♡ がううっ♡ オチンポ、だっ♡ ポチのかっこいいオチンポ、おっおっ♡ おお、先っぽ赤くて黒くてぷりぷりでっ、オチンポ～っ♡ わんっ♡ あっご主人っ♡ オチンポ～っ♡ って遠吠えすると、ポチお尻がきゅって丸まって、剥けたてオチンポがびびびびっ♡ よっ、よくわかんないけどお腹見せて反り返っちゃうんだっ♡ なんでっ、なんでポチ、オチンポ硬いの、おうっ、わ、っふう♡

☆粘膜を「ご主人」の指が這い、快感に陶然とするポチ。ポチはすっかり機能を果たす形状に成長したペニスを見下ろし、いたずらっぽく笑む。

(15:09)

先、っぽ、つるつるのっ、オチンポのいちごみたいなところ、おう～、っ、ご主人っ、つまんだら、おおおっ♡ お膝ががくがくしちゃうわんっ♡ オチンポ棒がみち♡ みち♡ どっくん♡ 太くなっ、かっこよく、なってっ♡ なのに！ きゅ～っ♡ ってへっこんだオチンポくびれ、かっ、「かりくび」って言うの？ わふっ、え、へへ♡ 首、なんだあ……じゃあ、首輪、しないとだね、ごしゅじ、ん～っ♡

☆ポチは本能が訴えたとおりに小刻みに腰を使い、「ご主人」の手肌にペニスをすりつける。先汁が床を汚し、それでもなお次々と、吐息とともに溢れてくる。

(15:59)

ん、ぐ、るるるっ♡ カリ、首、輪あ……ん、じゅるう♡ あ～、あ、わふふっ♡ わるいこお勃起するから、オチンポさん、こんなにおっきくてごつごつで強そうなのに♡ ち～っちゃん首輪、はめられちゃったね、わうんっ♡

(16:26)

……へっへっ、へっ♡ ん、へっ♡ え、え～？ ご主人っ、ポチ、へんかなあ♡ 腰がかくかくしてる、のお？ あっほんとうだ♡ あれっ、あれれ、ポチ、んへっ、へっへっ♡ どうしてお尻振って、キンタマぶるぶる揺らして、あっあ、わうっ、わふっ♡ ご主人のお指に、おつゆぬるぬるカリ首♡

ずり、ず、りひいっ♡ うーっ♡ あっ、あっわかったよっご主人っ、これ、あう♡ むきむきオチンポ擦ったら、どんどんお汁出て、ちんちんどくどく太るっ、きもちくなる、うわんっ♡

☆ポチのペニスの先端がひときわ大きな雫を噴きこぼす。たちこめる獣臭はポチの鋭敏な嗅覚に訴えかけ、ますますペニスをしゃちほこぼらせる。

(17:26)

あっ、お汁おっきいの、出るわんっ♡ とぶっ、わうう、～……っ、ぐ♡ あ♡ あ♡ あ♡ へんなにおいした♡ すんすんっ、すうっ♡ ご主人っ♡ ポチね～っ♡ オチンポの穴の奥からへんなにおいした♡ えっと、わふふ、オチンポ硬くて戻らなく、なっっ、海みたいなしょっぱいにおいが広がって♡ キンタマがぎゅーっ♡ っってお股にしがみついちやってる♡ ポチかしこいから覚えてるんだ♡ こうなったら、こうなっへっへっへっ♡ かっくっ♡ ってしちゃったら、わおっ、「しゃせい」しちゃうんだよ♡

☆青筋の巡ったペニスとは裏腹、無垢な笑みを浮かべ、学習の成果を「ご主人」に見せたいポチ。引きつる喉でふいに、犬と人間の混ざった倒錯的な言葉を口に出す。

(18:25)

でもねでもねご主人っ♡ わんっ♡ ポチおりこうだから、犬のときからきちんと専用おトイレでしゅーっ♡ っておしっこできたから、わんわんっ♡ 人間でも、オチンポでもおりこうだよ♡

(18:45)

だから、えっとねー♡ ティッシュ、いち、に一、さんっ、取って、くしゃくしゃっして、お床に敷いて……わお～んっ♡ ポチのお射精用おトイレ、完成～……わうっ、うぐっ♡ あっ♡ ティッシュ重ねたかんたんおトイレ見ただけで、あの、あのねっ♡ キンタマ袋の裏っかわがぴくっ♡ ってした♡ ポチ、がまん汁ぼたぼた垂らして、ティッシュにぱっちりお射精の準備完了したのっ♡ わふっ、わふわふ、～っ♡ おトイレ♡ オチンポ♡ 出す♡ って、おちんちん棒の奥がむずむず、わうっ、あっ出そうっ、ご主人っ♡

☆ポチは猛烈な勢いで呼吸を繰り返し、丸い瞳を爛々と輝かせて絶頂を待ちわびる。上下する肩の、背筋の震えが当然のごとくペニスに集まっていく。

(19:52)

出るっ、でるでる、出る、うう～、ううっ♡ あっ、あっ、あ、そうご主人っ、お、オチンポぐいっ♡ って掴んで、わうう♡ お肉の幹、下に向けてくれて、うんっ、そうしないとトイレの外に飛んじゃうもんねっ、赤ちゃんのっ、キンタマの、ミルクっ♡ ううっ、わっ、わかったか、オチンポっ♡ ご主人がこんなに優しくしてくれてるんだから、ちゃんとお床汚さずに真っ白の、おしっこ出すんだぞっ♡ あっあっ、わお、っ、ぶるぶる、する、ちんちんぶるぶるする、っふーっ♡

☆「ご主人」に自らの絶頂を見てもらうことが嬉しいという純粋な感慨を、語尾をもつれさせて口に出すポチ。その瞬間肉幹は一息に太くなり、ポチは顎を跳ね上げて法悦を迎える。

(20:46)

あっご主人っ、イクっ、っぐ、わふう〜っ♡ きもちいいのがいちばんオチンポに集まってくるの、「イク」って言うの、ポチご主人に教えてもらって、ん、わおっ、イク、わう、わうう、でっ出る、見ててねご主人っ、ポチ、イってもおててついて脚踏ん張ってしっかりおすわりして、あっそれでちんちんだけおつきく立ちして、がうっ、がうう、膨らんだまっかな先っぽからどぶどぶどぶっ♡ って出す、出っ、出る、チンポ、イ、くう、うう、わお〜〜んっ♡

☆ポチは床についた四肢をこわばらせ、吐精する。高らかな遠吠えは動物的な快樂への素直な喜びを表し、ますます勢いをつけて精液が噴き出す。

(21:42)

わうっ、わおっ、わっ、おおお〜♡ お〜、っ、おうう、わふっ、わうう〜っ♡ わああ〜、っ、ご主人、すごいっ、ポチ、えへへ、ポチちゃんと、イってる、わんっ♡ わ、あうっ♡ わおおっ、射精、ご主人に先っぽティッシュに向けてもらってしゃせ、っえへへ、あぐっ、がうう♡ どぴゅっ♡ どぴゅどぴゅどぴゅっ♡ って、はへっ、オチンポの熱い、亀頭、からティッシュの上、う〜♡ あっあっご主人っ、ポチ、ポチおちんちんの中ぐずぐずになっちゃって、わうう、握って、ずーっとオチンポ握って、てえ……♡

☆快樂の波が去っても、ポチのきゃしゃな身体は震え続ける。荒い息を交えながら、忠誠の証とばかり積み上がった濁精を「ご主人」に、誇らしげに見せつける。

(22:47)

……う♡ ふうっ、ふーっ、ぐるる、ぐるるるっ♡ き、きもちーの、まだオチンポ、びきっとしてびくびくしっぽ振っちゃう、けど、けどいっぱい、出せたわんっ、ご主人♡ えへ、ポチのお射精、「ザーメン」、ぷるぷるして、お汁なのに、こんなにこんもり、ティッシュにお山作っちゃって……うんっ、白いのにちょっとだけ、黄色くなってるわん♡ はふ、それににおいも、うう〜、くさ、いい♡ オチンポの奥からしてたにおいと同じだから、えへ、ポチがおちんちんから出したの、ご主人のこと考えて、いっぱい出た、わんっ♡

☆「ご主人」に後処理をしてもらうと、ポチの頬がとろけそうにほころぶ。再び肉竿を起き上がらせる一方で、親愛とは呼べない暗い情熱が、ポチの声に滲み始めるのだった。

(23:51)

あっご主人、オチンポ、拭いてくれるの？ えへ、お射精したあとのオチンポ、ねとっ♡ ってしたよだれが先っぽから垂れてて、きたないもんね〜♡ わうっ、わうう〜♡ ティッシュを取って〜、ポチの亀頭さん、きゅっ♡ おうっ、わお、っふうう♡ へっへっへっ♡ ご主人にあっあつオチンポ、包んでごし、ごし、っひっ♡ してもらうの、すき……えへ、あっキンタマどっくん♡ して、ぴんっ♡

(24:42)

わう～ん♡ ご主人っ♡ ポチ、またちんちん♡ しちゃった～♡ ポチの面倒、見てくれるよね、
だってご主人は、ポチがオチンポおっくしちゃったら、いつでもオチンポ握って、キンタマ袋がた
るん♡ って垂れるまで、最後の一滴までお世話してくれる、ポチの、ポチだけのご主人だもんね
……わうんっ♡ ご主人、ポチね、ご主人のこと、だ～いすきっ♡ あっ、おちんちん出したまんま飛
びついたらダメだよね、わうう、ごめんね、ご主人、おすわりするから、ちんちんして♡ ちんちん、
ぴんっ♡

第2話 リーダーウォーク

☆早朝、「ご主人」が目を覚ますと、血相を変えたポチが飛びついてくる。涙まじりの声で、「ご主人」に自らの窮状を訴えかける。

(00:01)

……わんっ、わんっ、わんわんわんっ！ どっ、どうしようっ、ご主人！ ポチ、死んじゃうかもしれない、ポチ、あのねっ、ポチの身体、へんだよお、わう～ん！ やっやだよおっ、ポチ死んじゃったら、うっっ、ぐすぐすっ、ご主人にもうなでなでしてもらえない、ご主人のことまもってあげられない、ご主人と一緒にいられないよお～っ！ やだやだ、ご主人っ、ポチのこと大丈夫大丈夫ってしてっ、いつもみたいにポチのほっぺたむにむにして、髪の毛わしゃわしゃしてだいすきだいすきってして～っ！

☆「ご主人」に撫でられ、少しずつ落ち着きを取り戻していくポチ。声を上ずらせ、「ご主人」にすりつきながら、赤裸々に告白する。

(00:54)

わふっ♡ ん、わうう、わふふ、ご主人のなでなでだあ、わお～ん♡ うんっ、すーは一して落ち着くねっ！ すう……はあ……ふうっ。えっとね、あのねっ、ポチ、あの、昨日の夜、ううん、昨日だけじゃなくてずっと、おちんちん生えちゃってからずっとなんだけど、あのね、あのね？ おふとんに入ると、おちんちんがなでなでして♡ さわさわして♡ ってむっくり大きくなってきちゃうから、ご主人にミルク出させてもらったのまねして、ごしごししてしてるんだわん♡

☆ポチはときおり自らの股間に目を落としながら、ぼつぼつと語る。不自然に膨らんだズボンは淫らな行状を思い起こさせ、無自覚な興奮がポチの呼吸を荒くさせる。

(01:56)

うん、ご主人もまねしていーよ♡ だって、わう♡ おへそにぴーんってはりついたおちんちん、よかったね、きもちよかったね♡ って甘やかしてると、優しいご主人のこと思い出して、ふわふわ温かい気持ちになって眠れるの♡ それで、それで、へっ、へっへっ♡ 朝はあ、おちんちんぴくぴく♡ おズボンもこって持ち上げて、おちんちんがめざまししてくれるんだ♡ それもとってもうれしくて、だって、はふっ♡ おちんちんおっきかったら、ご主人だいすきってことだもんね？ わふふ、ふーっ♡

☆そこまで言うとはポチは突如眉をひそめ、悲しげに声をこもらせる。未熟な身体の反応を受け止めきれず、いじらしく「ご主人」にすがる。

(02:53)

うっ、でもっ、今日もいつもとおなじ、おパンツぎゅうぎゅうでおちんちんさんおはよう～♡ っておめめ開けたのに～……へんなの、おパンツがたぶんたぶん、っていって、ぐすっ、わうう、ポチ、

こわくて見てないの、おっ、おちんちんから、へんなの、寝てる間に出ちゃった、って、おトイレにも行けなくて、それでっ！ うう、ご主人っ、くう～ん……

☆粘度の高い濁液で満たされ、青々とした臭気を放つポチの下着の裏側。沈む声とは裏腹に、血色のいいペニスは恥じることなく反り立つ。

(03:37)

あっ、わうわうっ、ご主人、ポチのおパンツ、下ろしちゃうの？ ずるずるって……わお、おんっ♡ お、おちんちん出た、わんっ♡ ほらほら、やっぱり、へんだもんっ♡ かってにお勃起して、オチンポになっちゃってる、おちんちん♡ の先っぽから～、あっあっ！ 見て、すやすや垂れてるおきんたまぶくろまで、ねと～っ♡ 黄色っぽい、ねばねばのお汁が、糸引いて絡んで、にちゃっ♡ ってへばりついて♡ おせーしそっくりなお野菜の匂いまでしてるのに、きもちよくない、怖いよお、きゅふうん♡

☆それが生理現象であることを「ご主人」に教わるポチ。安堵のため息もそこそこに、みなぎったペニスを震わせて親愛を伝える。

(04:32)

……えっ♡ これ、ほんとにポチのきんたまミルク、なのっ？ なんでなんで、わうっ♡ ポチ、おちんちんごしごしぽかぽかしてただけで、出る～っ♡ ちんちんイク～っ♡ ってなる前におやすみしちゃってたよ？

(04:55)

……え、わおっ、そう、なんだあ、ポチが寝てる間も、おちんちんさんぶんぶんぶん♡ っして、ご主人だいすき♡ がぎゅ～ってキンタマに集まってくると、びゅっ♡ 自分でお射精しちゃうんだあ……わう～♡ かしこ～い♡ えら～い♡ 寝てるときにおせーし発射♡ しちゃうの、「むせい」っていうの？ わふふ、ポチ、これからもいっぱい「むせい」、がんばるねっ♡ だって、いっぱいお射精するの、ご主人だいすき～♡ って、おちんちんさんで伝えることだもんね～、わふんっ♡

☆不安が晴れると、ポチの「ご主人」へのひたむきな偏愛が顔を出す。鼓動を抑えきれなくなり、熱っぽい吐息ごと口づけに閉じこめてしまう。

(05:51)

はっ、はっはっ、えへっ、ポチ、ポチもっ、おちんちんさんに負けないわんっ♡ ご主人、ぎゅっして、抱っこして、お口出してえ……はむ、つぶう♡ ちゅ、くちゅ、むみゅ……うあ、わふっ♡ わふふ♡ はずかしい、ね♡ 人間って、こうやって唇と唇くっつけて、すき♡ って言い合うんでしょ、へんなのっ♡ でも、でも、ポチもう人間だから♡ わんっ、ご主人と「ちゅう」したい、ご主人と向かい合ってお膝の上に抱えてもらって、もういっかあい……は一つ、は一つ、ぷ、ちゅう♡

☆ポチの高い体温が抱き締めあった身体から伝わり、自然と呼吸が早くなる。骨抜きになったポチは「ご主人」に寄りかかり、耳元で声を蕩かす。

(06:57)

む……っあ、んわう♡ くうん……ポチ、温かい？ えへ、ご主人もあったかくて、近くて、ポチ、力が抜けちゃう、わううん♡ はっ、はっはっ、あ、ご主人のお耳、だあ、あ～……はっはっ♡ ご主人、ご主人ご主人っ♡ ポチねー、ご主人すきっ♡ 考えるだけでオチンポ、わふ、う～♡ かちかちの棒になって、すやすやしてても勃起してびゅーっ♡ どびゅぶう～っ♡ 夢精でねっぶり、キンタマ袋ごとくさ～いお精子びたしにしちゃうくらい……食べちゃいたいくらい、すきっ、わあ～ん♡

☆一匹と一人の間、抱擁を妨げるように、ポチのペニスが屹立を遂げる。ポチは「ご主人」の背に軽く爪を立て、獣性をかすかに覗かせる。

(08:08)

う～～……わ、うっ、わう♡ わふふ♡ せっかくご主人に、抱っこしてもらってるのに、びんっ♡ おちんちん硬い硬いになっちゃった、わお♡ ポチとご主人がぎゅーぎゅーちゅーちゅーしてるのがうらやましかったんだぞ♡ わう、ちんちんのくせになまいきだ～……ねっねっ、ご主人♡ まっかで、お股つつぱるおちんちんも、ご主人にちゅう♡ してほしいんだって♡ ご主人だいすきだから、ご主人が近くにいると思うとキンタマぐるぐるしちゃうから……えへへ、それじゃあ、あおむけになっちゃうわん……♡

☆尻を動かし、隆起したペニスなどという汚らしいものをごくかわいらしく振ってみせるポチ。ちらちらと流す視線にはすでに、雌犬の艶が宿っている。

(09:09)

んしょ、ご主人から離れて、ごろ～んっ♡ きゅうん♡ きゅふう～ん♡ おへそ真上に向けて、オチンポしゃぶしゃぶ待ち焦がれてうずうず♡ くんく～んっ、ご主人っ、ポチもうおつゆが溢れてきちゃったああ、赤ちゃんミルクでべとべとのおサオがも～っと汚くなっちゃうわん、ご主人ごしゅじ～ん、へっへっ、先っぽぷりぷりしっぽふりふり、あっ、ご主人お口あ～～ん♡ って開けてえ……ぱくっ♡

☆「ご主人」が腫脹した先端に食いつくと、ポチは口吻を尖らせて悦声を上げる。口では無邪気な感動を表しながらも、ペニスは禍々しく肉を張り出させる。

(10:01)

わおっ、おっ、おおお、～～ん♡ んっ、わおっ、わおおお♡ ごっ、ご主人っ、うう、ご主人ポチのオチンポ、食べちゃった、わふ、～っ♡ あっあっ、剥きたての果物みたいな亀頭、にい、ご主人の舌、ああ～、っ♡ あっ！ あっ、ご主人ポチねっ、ポチすごいつ、オチンポの棒がびんびんっ♡ ってしたっ♡ キンタマがたっぶり袋の中でごろっ♡ って転がって、わう～、っん♡ これ、これお精子作ったっ♡ ご主人だいすきのもやもやが、きんたまの中でぎとぎと真っ白ザーメンに、なった、あう～っ♡

☆粘膜の上で躍る「ご主人」の舌先を目にしたポチの瞳に、癡猛な色が差す。無垢な思い出を肉竿に注ぎこみ、ふんふんと鼻息を噴き上げる。

(11:04)

あっあっ先、先、っぽ♡ つやつやぬるっとした先っぽ、わふう〜っ♡ ご主人の舌が、ちゅる、ぺろっ♡ って、はっはっはっ♡ ご主人、ねーご主人っ♡ ポチが犬のときも、お腹見せたらもふもふもふっ♡ って撫でてくれるの、好きだったあ、わんっ♡ ふうっ、ふーっ、っふっ♡ 今度は人間になって、おへそ見せてご主人の舌先でなでなで、ぺろぺろ、おおお、オチンポお〜っ♡

☆繊細な舌の刺激で新たな感点を見つけ出すたび、持ち上げた膝を震わせるポチ。亀頭のくびれを深くし、容赦のない奉仕をせがむ。

(11:51)

わ、うっ、わうう♡ 亀頭だけじゃ、ないっ、わおお♡ ごっご主人、ううう〜♡ ポチのおちんちん汚いのっ、先っぽ以外も、棒にも、袋にもっ♡ もったり黄ばんだミルク汁、絡んじやって、へっへっ、あっっ♡ ご主人にきもち〜とこいっばい見せようとして、カリ首、ぐうう♡ っっっ♡ えぐれて、わうっ、舐めて、舐めて〜っ♡

☆愛情からペニスを舐め上げる「ご主人」の姿に、ポチは思わず本能を刺激される。隠そうとしても漏れてしまう唸り声とともに、腰を揺すって何かを企む。

(12:30)

わふ、うう〜ん♡ うんっ♡ ありがとうご主人、わんっ♡ ご主人、しろっ、れろっ♡ って、ああ、へんなお顔♡ うんっ、そうだよ、ポチのお漏らしむわむわお精子、くさ〜いよね、おいしくない、よね、ぐ、うう♡ ぐるる♡ ぐるる♡ なのに、なのにおかしいわんっ、ご主人がポチのおぼっきにお顔くっつけて苦しそうにしてる、のに、うう〜、う♡ ポチおかしいよお、っ、頭がもやもやして、あっあっ、わう♡ お尻い、へこ♡ へこ♡ 揺れちゃって、ご主人、お顔にオチンポ、む、ぎゅうう〜、うわんっ♡

☆肉棒が「ご主人」の額を叩く感触に、征服感をたぎらせるポチのペニス。剛直が臭気を一層強く放つとともに、ポチの態度が尊大になる。

(13:32)

あっ♡ やっちゃった、あう〜っ♡ ご主人のお顔、ぜ〜んぶに届くポチのおっきいオチンポ♡ で、へっへっ、むぎゅって潰し、ちゃって♡ ちんちんどくどく言わせるの、おめめがばちばちする、わううう♡ んっ、がるる〜っ♡ どっ、どうだご主人っ♡ ポチのオチンポ、くさいっ、でしょっ♡ お顔に擦れる、オスの匂いきついごっごつオチンポ、嗅いでっご主人♡ わふふっ♡ も、もっと♡ すんすん♡ って鼻鳴らす音、ポチに聞こえるように嗅ぐ、わんっ♡

☆ポチは声を低く軋ませつつ、「ご主人」の鼻先で、頬で、汚液を拭き取る。突然の蛮行に顔をしかめた「ご主人」の表情さえ、肉竿を肥やす材料にしてしまう。

(14:24)

わ、お～、おっ♡ あ～～♡ ご主人、えへへ、オチンポ下敷きのお、ご主人のお鼻♡ ポチのいちばんくさいところっ、んふ、わふふう、オチンポの、棒とっ♡ キンタマの袋の、ちょうどま～んなか、あおっ♡ ポチがお指でごしごししてくんくんってしたら、香ばしくて湿っててひっくり返ってきやんきやん鳴いちゃうところ、ぐるるっ♡ 夢精のお汁もいっしょに、た～くさん♡ 嗅いでいい、わうん♡ えいっ♡ えい、つわう～っ♡ はっ、はっはっ♡

☆それでもポチのわがままはあくまで愛らしく、「ご主人」の庇護欲をそそる。ある種近親姦を思わせる背徳が、両者を盲目にさせていく。

(15:18)

ねっ、ご主人、ポチのチンポから出たお汁なんかで、きたない、くさ～いご主人っ♡ がううっ♡ ポチのびきびき肉しっぽ、もっとぺろぺろしてお世話してきれいに、してえ、ねっ舌出してえ、あうっ！？ わう～、わう～っ、ご主人につ♡ きんたまぶくろの始まり、舐められちゃったっ♡ そっしたら、びきーん♡ してるチンポ棒、下から、ぺろお～……っ♡

☆直感的に並べる言葉に後押しされ、ポチの態度が尊大になり始める。「ご主人」を見下ろす視線が、今までのポチらしくない、欲にぎとついた色をまとう。

(16:02)

ふう、うーっ♡ これっ、これ、人間っ♡ 使ってないときでもぶら～んってぶら下がってる人間チンポじゃないと、こ～んなにれろ～～っ、おっ、わおお♡ 舐め上げてもらえない、わんっ♡ わう、わふふう♡ ポチ人間だからオチンポおつきするのっ♡ でっ♡ で、で人間のご主人に人間チンポ嗅がせる♡ んへっ、あれえ、でもっ♡ ご主人は人間なのに、犬みたいにポチのオチンポにお顔くっつけて、ぺろぺろお掃除しちゃってるね？ へ、へんなのっ♡

☆自らのすっかり育ちきったペニスを眺めて、その雄性の凶暴さに恍惚とするポチ。しゃくり上げる竿越しに「ご主人」の顔を舐めるように見回し、喉を鳴らす。

(16:56)

う、あっ！？ あっ、あーっ、あーっ、ご、主人、ふう♡ ポチ、おっ、オチンポ、びきっ♡ ってした、あう♡ う～～♡ うっ♡ えへへっ、すごい、カリ首が、ぶっとくてぱんぱんになって、あ～、オチンポって、こんなあ♡ 興奮すると傘が開くみたいに、亀頭全体ぶくっ♡ って、すごいすごい、わんっ♡ 何段階も、ぼっきい……はっはっ♡ はっはっ、はあ♡ かっこいい、オスう～♡ って感じのオチンポ、の横に、ポチがオチンポぺろぺろさせるから困っちゃってる、ご主人の顔、お～……♡

☆ふと首をかしげ、沈黙したと思うと、ポチはあたりを嗅ぎ始める。得意げな声とともにペニスを反応させ、「ご主人」の性感の高まりを見抜く。

(17:54)

ってあれ、う、ん～～？ ……えっと、お鼻、鳴らして、ふんふん、ふんふん、んっ、ふう～、もっかい、ふんふん、ふすっ、すう～……っ♡

(18:20)

わう♡ ねっねっ、ポチ、わかつちゃった♡ ご主人……お勃起、してるでしょ♡ ポチのオチンポ舐めて、自分のおちんちんかちかち♡ わふふっ♡ な～んだ、なんだあ、ポチがご主人のかわいいわんちゃんだから、オチンポ毛づくろいしてくれてたのかと思ったのに、ありがとうって思ってたのに……ご主人、オスなのに、ちんちんぺろぺろだいすきなんだあ♡ 人間なのに、ポチがこうやって、びくびくびくっ♡ ってオチンポ跳ねさせるの、自分のぺろぺろのおかげだと思うと、ご主人もおちんちんの穴、ぬるぬるしちゃうんだね♡

☆支配種であることを自覚すると、ポチの鼠蹊部からペニスまで、甘い痺れに包まれる。覚えての嗜虐で無邪気な笑みを塗り変えながらたっぷりと間を取り、ペニスに手を伸ばす。

(19:20)

ふう～ん……わう、わう♡ ポチねえ、ご主人みたいに、触ってもないのにおちんちんおっきっ♡ ってしちゃったとき、どうしたらいいか知ってるんだあ♡ わふふ♡ ご主人の～、ポチのオチンポぱっかり硬～くなってずるい♡ がまん汁出してずるい♡ びくびく♡ ってしてるおちんちんに、教えてあげる、わん♡ ご主人、お口離してね♡ んっ、見ててえ、オチンポに両手、持ってって～……ごしごし、ごしっ♡

☆ポチの躊躇のない手つきは、否応なしに「ご主人」を魅了する。一瞬で射精の体勢を整えたペニスから逆流する快樂が、ポチの喉を裏返させる。

(20:12)

わお、わっふう～～、んっ♡ すごっ、これすご、ばう、ばうばうっ♡ ご主人に見られながらオチンポ、いじる、つつ、おおお♡ ぴゅっぴゅっぴゅっ♡ お腹におつゆ飛んじゃう、すぐにオチンポの奥、むずむずしはじめて、わう、う、うぐっ♡ ねっご主人も、目、離せないよねっ、ポチのオチンポくぎづけで、おいしいもの見たときのよだれ、出てる、舌先に集めて、ふと～いオチンポ、ぺちゃぺちゃ、あっ♡ 舐め回したい、オス犬オチンポ、味わいたあ～い、わう♡

☆はち切れそうなペニスとは裏腹、余裕たっぷり頬を緩めて、鈴口を差し出すポチ。いざ「ご主人」の舌に擦り上げられると、尻を震わせて悦びの声を上げる。

(21:05)

えへっ、えへへ♡ いいよ♡ でも先っぽだけ♡ わおっ、おっ、オチンポ棒はごしごしでいそがし、っ、から、わお、おほっ♡ しごいただけ、「おなにー」しただけ濃い汁出てくる、オチンポ肉割れ目、よだれまぶした舌ちょっとだけ出して、ぺろ……っ♡ わっ♡ わお、——っ♡ ざらってた♡ チンポの穴ざらって、こしゅ、られて、へっへっ♡ んへっ、オチンポイきそっ、なっちゃった、うう♡ でっ♡ 出てるでしょ、ご主人っ、味、しょっぱいだけじゃなくしてお精子混じった、どろどろのっ、わほお〜っ♡

☆どこまでも強欲になっていくペニスの要求に応じて、ポチはまた一段階、手を速める。全身がペニスに負けじと反り返り、なのに切っ先だけはまっすぐ「ご主人」から離れない。

(22:03)

わうっ、わう、出るっ、出る、かける、わんっ♡ ご主人、ん〜っ♡ ポチもうおトイレにぶりゅぶりゅさせてもらっただけじゃキンタマすっきり♡ できない、悪いわんちゃんだからご主人に、お顔に♡ おトイレに出す汁イク汁臭い汁っ♡ ぶっ、ぶっかけっ、ご主人お顔、チンポのおトイレ、あっあっ人間おトイレオナニーミルクべちゃべちゃ引っかけ、うう〜っ、うっ♡ 身体ごとオチンポびーんっ♡ って反り返って、ポチい〜っ♡

☆「ご主人」の確かな愛情をペニスの先端で感じ、ポチは絶頂する。その卑しい悦感が睾丸を搾り上げ、有り余る勢いで「ご主人」の顔に濁流を叩きつける。

(22:49)

う〜♡ うう〜、っ♡ ご主人っ♡ ちょうだいっ♡ 先っぽちょうだい、ぐるるるっ♡ 出していい♡ って♡ おきんたまミルク出てこい出てこい♡ ってっ、ぺろぺろ、おうっおうっ〜♡ うんっ、うんっ、ご主人に言われたから出すねっ、ポチっ♡ ポチイクっ♡ 見ててポチがご主人の目の前で、うっ♡ オチンポぱくぱくさせてるところ、きたないの上がってくるところっ、ぐっ、ぐうっ♡ ぶっかけるところ、おっ、お、わお、わお、ほっ♡ ぶっ、ぶっかけぶっかけ、ぶっかけええ〜、えへっ♡

☆身体中の熱がポチのペニスに集まり、精となって噴出していく。逆らえない疼きにポチはただただ唸り、目を細め、涙を浮かべ、「ご主人」を思う。

(23:44)

わ♡ ふ〜っ♡ ふう、っ♡ はふっ、はふんっ、はふうんっ♡ イ、イってるう、ポチの、おちっ、オチンポ、どっぴゅ——っ♡ 出しっ、発射っ、ぶ、ぶっ、かけっ、がうう♡ ふ——♡ うぐ、う〜♡ てへっ、えへへ、覚え、ちゃった、ポチ、夢精より自分でオチンポがしがし、「シコ」って出す♡ ほうが、わふう〜♡ きもちい♡ 想像よりほんものご主人のほうが、どっぴゅり出る、はふっ♡ ごしゅじい〜ん♡ ポチのオチンポ、どんどんかしこくなっちゃうよお……わふっ♡

☆はつきりと媚びを帯びた瞳で、淫らな所作と独占欲を「ご主人」に見せつけるポチ。ペニスと飛び出る精液を媒介として、自らと「ご主人」を不可分に結び付けていく。

(24:43)

あっ、あっ♡ ご主人、ポチのかしいオチンポが、ご主人に舌ベーってして♡ って言ってる……ばうっ♡ ね、ね、ベーってしたら、がまん汁でしょっぱくなったご主人の舌に、はふっ、オチンポごしごしごし……ぴゅっ♡ あうっ♡ ねっ、わうう♡ 搾りたてオチンポ穴汁、ちょっとだけぶっかけ♡ オチンポよくしてくれたからいちばん新鮮なの、ご主人にあげるっ♡ わふふ♡ ご主人、ペロにポチの赤ちゃんミルクなんて乗っけて、かわいい、わう♡ あっ、ご主人♡ そのまま舌、ベーって出しといてね♡

☆生来のバネを活かして跳ね起きると、「ご主人」に単なる親愛の情の発露ではすまされない濃厚なキスを施すポチ。精液の味に背筋を痺れさせ、隙間なく身体をすり寄せる。

(25:43)

そしたら……えへ、えへ、ご主人の舌めがけて、ポチもベー……っ、ぴちゃ♡ れろ、れるる、んる、んわう～～、ふっ♡ もお～ご主人♡ なんて、にが～い♡ くっさ～い♡ 脂が浮いててこってり～♡ 舌に絡んで、んぐ、ぐっ♡ はへえ～♡ なかなかお腹に落ちていかない濃厚キンタマゼリー♡ な～んて、顔にへばりつけてるの♡ わうん♡ 忠犬ポチが、ご主人のお顔ぺろぺろ掃除してあげる♡ ご主人はお口開けて、動いちゃダメなんだからな～♡

☆ポチはわざとらしいほど口腔に溜まった唾液を鳴らし、「ご主人」に聞かせる。犬らしく慣れた首の動きで、「ご主人」の顔を汚す濁汁を舐め取り、かいがいしく口元に運ぶ。

(26:42)

んるう……ん、んあ～、ん、ぷ、ぷちゅう～♡ ふ、あ、ご主人、人間なのに、ポチのオチンポが、びつくんっ♡ ってして、塊みたいにならずびゅずびゅ吐き出したお汁で、オチンポのにおい、ポチのお……ほら、まゆ毛も、おでこも、くひびるのまわりもお♡ あ～う、れろ、むちゅ、ぷ……あ♡ えへ♡ ご主人だいすきだからってえ、オチンポさんがんばりすぎなんだからなあ♡ はふっ♡ はふ♡ ご主人ぎゅーってしちゃう、ねっねっポチいっぱい出せてえらいよね、ご主人っ♡

☆「ご主人」の肩に顎を乗せ、まどろむように頬を寄せるポチ。ふと犬歯を見せてにかりと笑い、「ご主人」の耳元で甘ったるい声を出す。

(27:42)

くう～ん、わふんっ、ご主人～……あ♡ ご主人のお耳だあ、わう～……♡ ねっご主人、ポチ気持ちよかったあ、ご主人にぶくぶくの亀頭さん舐めてもらえるのすきわん♡ ふ～～……ご主人からは見えないかな？ ポチのおちんちんお元気汁♡ ご主人のお顔にびゅ♡ できなかったぶん、お床にべちゃあ♡ きたないきたないマーキング跡つけちゃってるからあ♡ ポチのわがままオチンポお世話するのご主人のやくめだから、後でいっぱいぺろぺろお掃除しなきゃだめだわん？

☆ポチは「ご主人」の火照りを煽りつつ、自らもペニスをいきり立たせる。疼く熱を「ご主人」に押し付け、いたずらっぽく笑う。

(28:39)

わふふ、上手にできたらご主人も、ぴっくんぴっくん大興奮♡ してるおちんちん.....ポチのおもらしおせーしおっこ♡ 「おかず」にしてオナニーしていーよ♡ ご主人が搾ったお汁だもんね、ご主人もすっきりしないとだもんね～.....えへ♡ ご主人、ポチでおちんちんごしごししてね♡ ポチも、ご主人でオチンポおつきくするわん♡ あう～、ご主人、これっってもう、ちゅーだよな♡ お口開けてえ♡ あ～～.....う、む、ちゅう♡

第3話 ホールドスチール

☆「ご主人」に髪の毛を洗ってもらおうポチ。鼻歌交じりの上機嫌で落ち着きがなく、泡があたりに舞う。

(00:01)

わふんわふーん♪ おーふろ、おーふろ、ふーわふわ、わしゃわしゃー、ざばー♪ わう、ご主人？ え、動いちゃだめって、だってご主人に洗ってもらうの、きもちーんだわんっ♪ えー、わんちゃんのときは～、身体が濡れちゃうの怖かったけど、もうポチ人間だから、あわあわで腕とか脚とか洗うのも、お風呂に入ってぽかぽかになるのもすきー♪

☆体表の泡を洗い流すと、ポチは身体を揺すって水気を飛ばす。微笑ましい自立心を見せ、「ご主人」の背後に立つ。

(00:40)

はいっ、シャワー、しゃーっ♪ ぶるぶるぶる……わふっ、あっ、ご主人ごめんなさーい♪ ついつい犬だったときとおんなじに、お水ぶんぶんしちゃった♪ ご主人、汚れちゃったかな……あ、そうだーっ！ ねっねっご主人、ポチにご主人のこと、洗わせて♪ えー、できるよポチにもできるよー、ご主人のことお手伝いしたーいっ♪

☆ポチは危なっかしい手つきで泡を立て、「ご主人」の身体に指を這わせる。繊細さとはほど遠く、むらもあるものの、本人はいたって楽しそう。

(01:20)

わ～いありがと、ご主人～っ♪ それじゃーえっと、ポチの座ってた椅子、ご主人にはちっちゃいのかな？ ご主人、座れる？ わふ、えらいえら～い♪ それでポチは～、あわあわのやつをぷしゅ、ぷしゅってして、おてての上で混ぜて、ご主人の後ろから……えいっ、もふもふ、もふもふっ♪ わお、ご主人の身体、どんどん泡で真っ白になっていっちゃう。ポチ、おふろとってもじょうずかも♪

☆ポチの邪な欲求を感じさせない自然体のふるまいのせいで、容易く急所を握られてしまう「ご主人」。溢れたか細い声を、ポチの鋭敏な耳は聞き逃さない。

(02:11)

わん、わん、お胸と～、お腹と～……それからちょっと、恥ずかしいところ、わうん♪ ……わう、あれ～ご主人、どーして今、「あ♡」ってかわいい声、出しちゃったのかな？ だって、きたないから洗わなきゃダメわん、ポチはここ、濡れちゃうの知ってるよ、だからご主人の……お・ち・ん・ち・ん♡ あわあわのおててで握っちゃっただけ、だよ？ ね、今、ポチのお指の中でおちんちん……わふ♡ ぴくぴくいってる♡

☆低くこもる吐息を存分に吹きかけながら、ポチは泡を「ご主人」の淫靡な部分に広げていく。ポチは思考を痺れさせるゆったりとしたしゃべり方で、「ご主人」に従わせる。

(03:06)

ほら、おちんちん、ひっぱって伸ばしちゃうみたい、きゅっ、ごし、ごし……下のほうに手、動かして、たまたま、もしや、もしや……わふ♡ ご主人のきんたまぶくろ、ふわふわな泡のお服着てかわいいね♡ もっとふわふわになりたいわん？ ね、後ろのほうにもきたな～いところ、あるでしょ♡ 椅子からお尻ずらして、後ろのほうがはみ出ちゃう感じで座るわん♡ ね、ご主人はかしこいから、できるよね♡

☆手が後ろからさしこまれた瞬間、「ご主人」は身構える。その緊張ごと、うってかわって絶妙なポチの力加減がとろかしていく。

(04:03)

……わふ♡ ご主人のおっきいオスのお尻が、椅子にちょこんと乗っかって、不安そうにふるふる震えてる♡ だいじょうぶだよ、ポチはご主人の飼い犬だわん♡ 飼い犬が飼い主に怖いことなんか、するわけないもん♡ えへ、お尻の間に、おてて、にゆるう……♡ わっ、わっ、ご主人、お尻、たっぷりだね♡ どこ押しても、ぷにっとお肉がポチの指、押し返してきて♡ 真ん中にきゅ～って曲がって降りていく桃の形……じゃあ、真ん中には何があるのかな、わふふ♡ ポチ知ってる、「きんちょう」してる、お尻の穴、つ、ぷっ♡

☆ひっそりと息づく陰門にポチの無垢な指が触れ、遠慮がちにかき混ぜる。その度に大げさになる反応にポチは喜び、牙齒を舐めて潤す。

(05:10)

わう、っ♡ 輪っかになった筋肉♡ 「こうもん」がポチの指、噛んじやった♡ こわいこわ～い、抜いちゃお♡ 今度は穴の周り、搾るみたいに親指と人差し指で、つねって、撫でて、きゅっきゅっ、さわ、さわあ……中指、ずぷっ♡ ……ご主人、背中の細～い毛がぞわぞわ♡ 起き上がっちゃってるね？ ポチのお指、「きつきつアナル」でくわえちゃって、指人形みたいになっこうで、あ～～♡ 「けつあな」ぷっくりしてる、お口とがらせて、ほっぺたむにむにマシユマロお尻、んう～♡

☆ゆっくりとしているのに逃げる隙のない、肉食獣の動きで「ご主人」を抱き締めるポチ。ペニスはとうに育ちきり、「ご主人」の腰骨に深い脈動を伝えている。

(06:14)

えへ、お指、抜いちゃうわん、にゅぷ……っ♡ ねっ、ご主人、ポチ、なんでこんなにお尻の言葉、知ってると思う？ それはねっ、ご主人、ね、後ろからぎゅっして、教えてあげるう……ぎゅ♡ ご主人のお部屋でえ、いっぱいご本読んだんだあ♡ はだかんぼの男の人と女の人が出てくるお話で、ポチ、ポチね、よくわかんなかったんだけど、読んでたらずっとおちんちんさんおっきく

て、びくびく止まらなくなっ♡ つ、そおっ、今、ご主人の背中にぐぐっ♡ って当たってるのと、おんなじい……♡

☆ポチは野性をむき出しにして、骨が軋むほどの力で「ご主人」を抱き締める。口調こそ幼いままだが、声色には有無を言わせない傲慢さがはっきりと現れている。

(07:15)

それ、でっ、わう♡ 勃起♡ 勃起～っ♡ って、ポチにもわかんないけど♡ わう、っわう、ん♡ ご主人なら、ポチのしたいことわかってくれる、だってポチにだっこされて、心臓どきどき言ってる、わふっ♡ こう、して、腰ずるずるずらして、もうおサオ全体がまん汁でてらてら光っちゃってる、お、オチンポっ、椅子からはみ出た、ご主人のお尻の穴に……ぺちゅ、っふう～っ♡ ぐっ♡

☆自らの動き一つで「ご主人」を鳴かせてしまえと理解して腰をくねらせるポチ。もはや「ご主人」のことを捕食対象と見抜いてしまった鈍い輝きが無垢な瞳を濁らせる。

(08:05)

あっ、びっくりして肛門きゅっ♡ っつぽんじやった♡ ご主人、「しょじょ」だもんね、お肉のくせに硬くて太おいオチンポなんか、入れられたことない、入れられちゃいたくない、でもねっ、ねっ、「チンポハメたらこっちのもん」なんだって、「一回デカチンの味知ったらメスはもうマンコだらだら濡らすだけ」なんだって、ご主人、そうなっちゃうよ、嬉しい？ うれしい、わう、ぐるるっ♡ ね、わふふ、ご主人、ダメだよお尻締めたら、ポチが腰、ぐいってして、「せっくす」でめりめり広げちゃうとき、苦しいよ、っふーっ♡

☆ポチはとうとう獰猛な獣の本性そのまま、牙をむいて「ご主人」を圧する。過剰な血流がペニスをみなぎらせ、ポチの脳内で嗜虐と性感を結びつけていく。

(09:17)

だめ、だめ、わお、セックスする♡ ご主人にポチのばきばきオスチンポ、ずぶっと最後までハメ、る、うう♡ ふっ、ふんっ、ほらお尻くちゅっていった、「すけべあな」濡らして、ご主人、おとなしくろっ♡ がる、るるっ♡ 弱っちいご主人、ケツ、あ、違う、「マンコ」っ♡ 掘られそうになってるのに、ちんちんぼってり熱くしちゃってる、「まぞ」のご主人、ポチに力で勝てない、もんね？ わ、っふふ♡ ぎゅうってされてオスのくせにマンコ、ポチに食べられたくて、身体も動かないんだ、わん～……っ♡

☆淫猥な水音を境にして、ぬるついたペニスが腸腔に沈んでいく。一匹と一人は断続的に艶めいた息を吐き出し、肉の快楽に溺れていく。

(10:21)

ほら、弱っちくておかしくなっちゃうのわかってる、くせにっ♡ ぶっといの欲しがるご主人は、ポチが「おかし」て、わう、っぐっ、しつけ直してあげる♡ 入るよ、入るよご主人、ポチのオチンポで「しょじょそうしつ」う～～、っ、ふっ、きやうっ、きゅ、ふう～、う！？

(10:53)

わおっ、わお、っぐ、っはっ、あおおお、～、ご主人の中、すごい、入り口しかほぐしてあげてないから、びっ♡ びっくり、した「ちょくちょう」お肉、ポチの勃起チンポでみち、みち、いっぱいになって、広がっていっちゃう、奥、もっと奥、ずるずるずる、って肛門、逆にめくれていくと、おっ♡ おおお～っ♡ って吠えちゃうね、声出ちゃう、ぐるるう、もっと、鳴いて、鳴けっ♡ あう！ わう、んおおお♡ き、くっ♡ ご主人鳴かせてちん、ちんっ♡ ケツ穴マンコ掘り、ながら、太くなる、っう、わおお～、ん♡

☆ポチはペニスを「ご主人」の腸内に馴染ませるように動かし、鼻息を噴き出す。情感を反映して、結合部からは淫液が垂れ落ちる。

(11:59)

う、おっ♡ 入る、入、っる、ず、ぶう、わおお～～っ♡ ……はっはっ♡ はっはっはっ♡ ごしゅ、じいん♡ 座ったまんま、おちんちん、受け入れちゃった、わん♡ ねっ、にゅぶっ、にゅっぶ、っ♡ ちょっただけ、オチンポ抜いたり差したりすると、ポチのお股と、ご主人のお尻がぴったりくっついてちやってる、こんなにお尻むにゅむにゅ歪ませて、ずっぽりなかよし交尾してるの、ばればれだね……ふー、ふーっ♡ ポチとご主人、合体♡ してるところから、あったかい蜜が、きんたまぶくろのほうに垂れてきて……っ♡

☆脈動するペニスの本能にどこまでも正直に、「ご主人」に屈辱的な姿勢変換を迫るポチ。「ご主人」の無益な反論など、剛直の一振りで却下してしまう。

(12:54)

わふふ、ご主人、わう、っ♡ 真下からオマンコずぼり返すおすわりセックスも、いいけどお♡ もっと……オマンコほじるんだっ、けだもの交尾だっ♡ っていう姿勢で、わんわん「えっち」、するわんっ♡

(13:18)

ご本に書いてあったよ、四つん這いでポチが後ろでマンコ穴ほじくるの、「こうはいい」って言って、犬が「こづくり」するときの姿勢なんだって♡ はっ、はっはっ、だからご主人、腕離してあげるから、べったんっておててとおひざついて、わんちゃんになろうね……え？ ご主人、なにか言った、わんっ、ごめん、ねえ、ぐりいっ♡ ぐるるっ♡ オスに口ごたえするわいこは、おちんちんさんでケツの中、ぐりっ♡ して、言葉しゃべれなくしちゃうんだっ♡ わうっ♡

☆ポチに怯え、おぼつかない足取りで犯される体勢を整える「ご主人」。その最中もふいに尻穴に突き立ったペニスがいななき、声を抑えきれない。

(14:13)

ほら、オチンポささってるから、オマンコの壁、ぐちょっ♡ ってなったら、危ないわん♡ ポチとせーので、おちんちんに犯されたまま、立って、わんちゃん、わんちゃん……せーの、んうっ、ふっ、ふうっ♡ あう～、んっ♡ お尻にしっかり力入れてお肉の棒が抜けちゃわないようにしてるご主人、かわいいかわいっ♡ それで前かがみになって、床に手のひら、ぺたっ♡ あっご主人四つん這いわんわんだっ♡ ポチご主人の背中にくっついちゃう、乗っかっちゃう、がばっ♡

☆ポチは「ご主人」に覆いかぶさると、五本目の脚とばかりペニスを強直させる。慣れ親しんだ獣の姿勢が、下敷きの「ご主人」を無意識に嘲る言葉を加速させる。

(15:12)

……はっ♡ はっはっ、は一つ♡ わううっ、ご主人っ、あっすごいっ♡ ふ、一つ♡ ぼっ、きっ♡ 四つん這いで四本脚で、力入りやすくお股どっくん♡ うおお、ほお～、お♡ メス犬チンポ♡ ふう、～っとい、わんっ♡ ねっご主人は、ご主人はポチが勃起してくれてうれしい？ ケツマンコ♡ の中でオチンポでっかくなって、直腸にちゅにちゅ♡ って広がってるの、うれしい？ ……わうっ♡ 答えないご主人はあ、奥♡ 亀頭先っぽ当たってるケツ奥♡ ちゅこちゅこっつっついちゃお♡ えいっ♡

☆野性的な勘で、すぐに最適な抽送の速度を見つけるポチ。悦楽で不随意に動き出してしまふ「ご主人」の身体の淫蕩さをなじり、舌をなめずる。

(16:09)

ちゅこ、ちゅこ、わう、っぐう、～っ♡ あー♡ あっ♡ チンポ、動き出しちゃった♡ へこ♡ へこ♡ へこっ♡ 柔らか～いお肉でぷりぷり亀頭しごきたくてセックス、うううっ♡ はじまつ、ちゃったあ～♡ ご主人っ♡ はあ、は一つ♡ ケツの中で勃起♡ どころじゃなくて、がまん汁が、糸引いちゃって、あ～♡ も～、んじゅるっ♡ ご主人がお尻ふりふりしてたら、おちんちんさん出たり入ったり、できないわんっ♡

☆ポチは身体を丸めて肉感に堪えようとする「ご主人」を押さえつける。抵抗の増した雄壺にペニスを浸し続ける動きで、喉がこわばる。

(16:57)

わうっ♡ だいじょうぶ、わん、ご主人♡ ポチがご主人のお尻、ぐずぐずにつ♡ セックスの穴に、んううっ♡ 変えてあげるから、ご主人はなにもしないでくんくん鳴いててねっ♡ ご主人は弱っちいから、なににもできなくてもしょうがないから、ずぼ、ずぼっ♡ おおっ、わおおお♡ ご主人、尻たぶ、筋肉むぎゅって盛り上がり、きゅっ、きゅふう～♡ だめ、だわう♡ 締まった、ケツ穴、も～っとうりやり、壊してあげたくなっちゃうわん、んっんっ、んっ！

☆浅い呼吸を重ねながら、「ご主人」の雄の部分の不全を咎めるポチ。尻穴を穿つ腰に力がこもり、肉のぶつかる音が響く。

(17:45)

はっ、はあ、～っ♡ う♡ ご主、人っ♡ ポチがんっ♡ んっ♡ ってケツ突くたびに、ちんちん、ぷるぷる、ふーっ♡ 揺れてる、わんっ♡ うう♡ お尻掘られたオス、のっ、無駄おちんちんはっ、お肉穴犯してるオス犬の肉ほじ棒興奮させるためにかわい～く揺れる、だけ♡ ほらっ、ぱん♡ ぱん♡ ぐるる♡ カづく「ぴすとん」でお尻叩いてあげる、から、もっと揺らして、おちんちん許して♡ 許してえ、きやう～ん♡ って、情けなく鳴いて、ねえご主人、んん、っぐっ♡

☆完全に我を忘れたポチはにやついた声で「ご主人」に下限のない隷属を求める。獣が獲物を手の内で弄ぶように侮辱的な行動を試し、鈴口からは粘液が噴きこぼれる。

(18:38)

ねえねえねえ、あう、うう、ううっ♡ ご主人♡ ねえ、許してほしいご主人がっ、ぶっといチンポに負けちゃったからぶにぶにお尻ポチに差し出して許して♡ ってへこへこ振ってるご主人、がっ、ばうっ♡ そ～んなふう腕伸ばしてかっこいい四つん這いしてるの、おかしいな～っ♡ ポチが♡ ご主人の頭に手、乗つけて、お床に這いつくばらせて、あげるわん♡ ほら、ご主人、「ふせ」だよ♡ あっ♡ だめなのに、ご主人にこんなひどいこと、して、ポチわるい犬なのに、チンポ、あつつ、～い、わうっ♡

☆屈辱の証明としか言いようのない姿勢を取らせた「ご主人」を、ポチは愛情たっぷりに自らの四肢で拘束する。より逃げ場のない衝撃が雄膺を襲い、内側の肉ごと貫かれる。

(19:33)

ほらっ、「ふせ」♡ 「ふせ」、～っ♡ ポチのオチンポで、力抜けて、「ふせ」しろ、うおっ、うお、お～んっ♡ わふふ♡ ご主人、もうお床に寝そべっちゃって、ずぼ、ずぼ、おうっ♡ ねっ♡ ねっ♡ ポチがこうやって、ご主人、えいっ♡ 上から覆いかぶさっちゃってる、のに♡ んう、ふたりともお尻だけ突き上げて、ぐちょぐちょぶつかってるお股、硬チンポとケツ、マンコっ♡ 交尾するのが本能の、「へんたい」セックス動物♡

☆ポチは自らの優位を「ご主人」にとうとうと言い聞かせる。首筋にかかる湿った息が産毛を逆立たせ、あたりは汗の揮発する香気で満たされる。

(20:22)

ご主人っ♡ ねー♡ オマンコ、ポチに掘ってもらえてきもちいねっ♡ んっ、ん♡ ご主人の、べた～って腹ばいの姿勢♡ 人間だったら「どげざ」っていったってとっても恥ずかしいかっこうだけど♡ ずぶ、ずぶっ♡ は、あう～っ♡ 負け犬のご主人はオマンコしてもらうのにちょうどいいからとってもだいすき♡ ほら、あうっ♡ 肛門裏側ピンクのお肉♡ チンポが、抜けていくのに合わせて、ケツ♡ ごと♡ はみ出て、はっ♡ はーっ♡ ご主人の、マゾ、マンコ、犬っ♡

☆にわかに声をひそめ、ぞっとしない言葉を「ご主人」の耳に注ぐポチ。感情のうかがえない声とは裏腹にペニスは熱くそそり、待ち受ける破滅をありありと予感させる。

(21:15)

う♡ 負け犬オマ、ンコ♡ ゆっくり「ちつこう」広げちゃうのも、よくてえ……はっ、はっ♡ ね、ご主人、「じゃくにくきょうしょく」って、知ってるわん～？ オスになってる、強～い犬、はあ♡ ざこ犬♡ が、自分の下でしっぽ丸めてきゅんきゅん鳴いてると、ふー、ふーっ♡ とろっとほぐれたぬるぬるマンコだけじゃなくて、ご主人のぜーんぶ、食べてあげたくなっちゃうんだわん♡ わふ、っ♡ ぐるる♡ ケツ穴ぶちこまれて、内股になってるご主人の、すんすんっ、ふーっ♡ メスの匂い強い、首筋とっ♡

☆ポチからしてみればほんの甘噛み程度とはいえ、急所に歯牙の冷たい感触が伝わる。そんな危機的状況でさえ淫らに反応する「ご主人」の身体に、ポチは目を輝かせる。

(22:13)

ね、ね、ダメだよ、目開けてたら、わふふ♡ ご主人、目つぶって真っ暗になる、わん♡ 何されちゃうんだろう、汗浮いてるよ、っわう～、ぷつぷつ毛穴の立った首の後ろお、れる、んれえ……～♡ わう♡ ポチのよだれでふやけたお肉う……かぶ、っ♡ ん……みゅ、あ♡ 食べられちゃった♡ 食べられちゃったあ、へっへっ、わう～、っう！？ うっうっ、う、ごしゅじいんっ♡ 首「あまがみ」されて、おまんこぐちゃって音した♡ ポチのカリ首に、ねじれたマン肉ですがりついちゃった、わふふふっ♡

☆ポチが息を長く吐き出すたびに、その呼気の温度が上がっていく。焼けた鉄のように熱で潤んだ瞳で、「ご主人」を睨み下ろし、笑う。

(23:17)

わう～♡ わ、うう～～♡ ご主人、も～、しかたない、わんっ♡ ね、きもちーもんね♡ 負け犬はポチにぜーんぶ食べられちゃっても、にゅぐっ♡ にゅぷっ♡ とろとろよだれこぼしながらセックスしてるオマンコの穴だけあればしあわせ♡ だいすき♡ オマンコきゅ～～♡ 弱っち～い、マゾ♡

☆暴力性と近接した欲求をちらつかせ、おののく「ご主人」の身体を堪能するポチ。ペニスはよだれを垂らしながら膨張し、穢れた水音が結合部から響く。

(23:48)

ふふ、わふふ、だいじにだいじに食べてあげるね、ご主人、んっ♡ 首も、腕も、おっぱいもお腹も、掘られてしぼんだおちんちんも、がぶっ♡ がぶっ♡ ん、わお、わうう♡ ん、んぐっ♡ ふーっ♡ へっ、もちろんその間じゅうず～っと、甘えんぼケツマンコはデカチンポ、もぐもぐ、にゅちにゅち、うう～っ♡ わふっ、ポチね、もう考えただけでちんちん、ふっと、お♡ わう、ハメ、腰、早くしちゃう、わん～っ♡

☆ポチの鈍い牙が「ご主人」に甘い痛みを刻む。それだけでどちらからともなく秘所をぬかるませ、まぐわう水音が下品に反響する。

(24:40)

わうっ、わうっ、はっはっ、きゅふう♡ ね、食べられちゃったらアナル穴きつき♡ だもんね、んうう♡ 歯ごたえありそうな、肩から食べる、わんっ、がぶ♡ ぶ、ぐっ♡ む、あ♡ 跡ついちゃった、ポチの歯型、ご主人に、ご主人、ううーっ♡ ご主人がポチのエサっていう証拠♡ ポチの前でふりふりケツ振ってチンポいじめるマゾエサ、むずむずさせるオス「せーよく」のエサ、ポチのエサっ、全部、ぐるるるっ、ぐるる、うう〜♡

☆ポチは前後不覚の中、未熟でひたむきな独占欲をむき出しにして、「ご主人」にひたすら腰を打ちつける。震えの止まらなくなった「ご主人」を包みこみ、吠え声を上げる。

(25:34)

わっ♡ わうう♡ あっあっご主人、ポチっ、ポチい、キンタマおかしい、キンタマ壊れ、りゅ、暴れてる、わおっ♡ わおお♡ んじゅるっ、がぶう、お口届かないお尻の奥、マンコ♡ 奥までポチのにする、へっへっ、へえ♡ ケツマンコにキンタマくさいどろどろミルク汁でマーキングする〜♡ ってっ♡ 「こうがん」が丸まって上がって下がって、あっ、わう、出る出る、出す出す♡

☆絶大な快感に喉を濁らせ、思わず感極まるポチ。「ご主人」にすがりつくように肩口を噛み、大きく腰を跳ねさせて膣内射精する。

(26:16)

ご主人、ご主人っ♡ イぐ、イぐポチイく、ポチもうちんちんびくびくいて止まらなくなって、うう、ぐすっ♡ 受け止めてご主人、ご主人ポチのになって、ポチのオチンポに負けて、いっ、イく、いっしょにイって、わう、わう、わうわうわうわう、わふっ、噛むから、肩噛んだらびゅー♡ だから、あっもうおちんちん穴のすぐ下までどろどろ来てる、チンポイってっ、イって、ケツもイけっ♡ あっ、あーっ、ご主人、うう、あ〜、がるるるる〜っ……がぶっっ♡

☆ポチは腰の昂りを排熱するごとく、低く長い息と重厚な精を吐き出す。つま先立ちでふくらはぎを硬直させ、全身の力加減を失って震える。

(27:11)

……ふーっ♡ ふう、うーっ♡ ううっ♡ ううう〜、っ、んっ、ぐっ♡ 出るう〜、う、出す、っう、わうう〜、チンポ穴開きっぱなしで、ぶびゅー♡ びゅう〜♡ って、っでっ♡ 出て、っ、一回一回の射精っ、信じられないくらい、わう、わふっ、長い〜、わんっ、わおっ、はぐっ、あむう♡ おっ、おちんちんさん、もつとがんばれ♡ 大量に、きんたまのお汁、っ、出せえ〜、っふうー、チンポ♡ チンポ、チンポお、うっうっ、う♡

☆放精の勢いは弱まりつつも途切れることがない。ポチは鼻面を「ご主人」に押しつけ、言い返せないのいいことに一人よがりな言葉を吐く。

(28:02)

うう、～～♡ もっ、ポチ、止まらないかも、しれない、んっ、ねっご主人っ♡ ポチご主人にひどいことして、犯したり、噛んだりしてるのにちんちんだいすき汁♡ ずーっと出る♡ ぐう♡
.....ご主人が負け犬なのが、わるい♡ こんな、首筋、ふんっ、ふんふんっ、中に出されてよけいに甘い、女の子みみたいなにおいさせる、ご主人♡ わ、っふっ♡ 出る、もっと、出す、ポチのオチンポのくっさいの、で♡ 塗り潰して、おトイレのにおいにして、やるうう.....わうっ♡

☆病熱に浮かされたように、うわごとめいた調子で語りかけるポチ。危うい言葉は「ご主人」を素通りして、ただ汚らわしい獣の営みに還元されていく。

(28:59)

ご主、人、あうっ♡ よかった、ね、はふうっ♡ ぽっかり空いたお尻オマンコ、もったりにちゃつく小麦粉ザーメンで埋めて、ポチにイってもらえて♡ 自分も、わうう、お射精びゅーっ♡ された瞬間、ケツ穴「あくめ」♡ イってた、わん、肛門絞って、お腹の中にぬるぬるお肉、きゅううって吸い上げて♡ ねっねっ、オチンポほじられ穴に♡ オマンコほじほじ棒♡ がっ、ハマったまんま、だから、わお、お～♡ おっ、お♡ ポチ腰かくかくして、ケツマンマウント交尾終わらない、ふーっ、わふー、う♡

☆視界をくらませるほどの多幸福感に襲われ、ポチの勃起は収まらない。口吻をすりつける動きばかりが無垢な仔犬を思い出させ、背徳まかせに交合は深まっていく.....

(29:55)

.....あ♡ ポチ、ご主人と交尾、しちゃったんだ、わううう.....♡ うれしい、わ～ん♡ わふっ、わう、うれしいから、勃起、おせーし出したのに、ぜんぜんオチンポふにやふにやしない、わんっ♡ ね、ご主人、ご主人、もうポチたち、どっちが強いかわかつちゃったから、もう、お手とか、おかわり、みたいに、オマンコ♡ って言ったら、ご主人はケツ穴ぬるぬる濡らして、ポチはすぐにちんちんおっ立てて♡ すぐ「せいこう」するからね♡ えへ、えへっ、じゃあ、ポチからご主人に命令わん.....オマン、コっ♡

第4話 マズルコントロール

☆互いに四つん這いの姿勢で向かい合う、ポチと「ご主人」。激しく威嚇を交わしたと思うと、闘犬の要領でぶつかり、いともたやすく「ご主人」を転がしてしまう。

(00:01)

がるるっ、がるるっ、ばう、ばうばうっ！　いくぞ～っ、ご主人、ポチのとっしん、受けてみる～っ、えいっ、どーんっ！

☆ポチはあおむけに倒れた「ご主人」を見下ろし、忍び笑う。余裕たっぷりに舌をなめずるポチの顔には、幼いつくりには似合わないやらしい笑みが浮かんでいる。

(00:20)

……わふ、ご主人、だいじょうぶう？　また、ごろんって倒されちゃったね～♡　ポチとたたかいごっこして、ぶつかって、ひっくり返されて♡　四つん這いなんて慣れてないし、ポチのほうが力が強いから、また負け♡　わうわう♡　これじゃ、今日もポチが「かいぬし」だね♡　「わんちゃん」は「かいぬし」のいうこと聞かなきゃダメだから……ご主人、おすわり♡　わふふっ♡　早くしてほしいぞ♡　ポチがぶんぶんってならないうちに、早く♡

☆ポチはいまや、犬に芸をさせることの意味を完全に理解している。屈託のないポチの声色が、命令する側とされる側の力関係を人間の「ご主人」に思い知らせる。

(01:15)

……よしよし、わんちゃんのおすわり、脚を四本とも地面につけるのが大事、だったよね♡　それじゃ、次は、お手♡　わう、ポチのおててに、ご主人の手、ぽんっ♡　えらいえら～い、ご主人っ、わんわん♡　はい、反対の手で、おかわり♡　ね♡　負けちゃったのに、ご主人、上手だわん♡　頭、なでなでしてあげる～♡　よ～し、それじゃ、あれ、やろうね♡　わふふ♡　おててをグーして、両方お胸の横に持ち上げるポーズ♡　すぐに動けない姿勢で「ちゅうせい」を示す、わんちゃんのだいすきな……ほらご主人、ちんちんっ♡

☆無力に柔肌を晒す「ご主人」の姿を舐めるように見回し、暗くほほえむポチ。なにくれと言葉を並べてはいるが、熱を帯びた視線は「ご主人」の局部を離れない。

(02:26)

わう～ん♡　ご主人って本当にわんちゃんごっこがじょうずだわん♡　わふっ、人間だったら「みじめ」でそんなポーズできないもんね♡　お胸もおなかもさらけ出すちんちん芸、ご主人のいろいろ、見えちゃう～♡　いろいろ……ポチに毎日負かされて、負け犬～っていう自覚が芽生えてきて♡　おうちに帰ってきたとたん、はだかんぼ♡　お外だとお服着てかっこいいのに、ポチに負けて、命令されて……わふふ♡　わんちゃんはいつでも、ポチといっしょにぶにぶにはだかんぼだもんね～？

☆「ご主人」の身体が抗いがたい衝動に侵されることを、ポチは完全に予測している。口ばかり咎めていながら、動き出しそうな指をなんとか留めている。

(03:24)

だから、ご主人、お股の間とか、ぶるぶる、ぷらぷら、ちっちゃなしっぽ～……わう～？ あふふっ♡ ごしゅじ～ん♡ ポチ、「おちんちん」の命令はしてないんだけどなあ♡ きもちいい？ ポチにふにゃふにゃおちんちん、視線でなぞってもらいながら、オチンポ～♡ って、おサオが持ち上がってところ見せつけるの、きもちいいわん？ わふふ♡ もお～♡ ご主人が返事するより先に、ぴっこ、ぴっこ♡ おちんちんがうんうんうなずいちゃってる♡

☆ポチはしつけと称し、屈辱的な動作を「ご主人」に強いる。人間の誇りが歪んでいくのに伴って手の中で形を変える「ご主人」のペニスと、顔を交互に見やる。

(04:15)

しかたないなあ♡ ほら、芸の続きしよっか～、ご主人♡ いい？ ポチがご主人の足の真ん中に手を差し出したら、はい、おちんちんっ♡ えへ、ぽてっ♡ って手のひらに乗ったおサオ……ぎゅ♡ えへへ、ご主人の負け犬オチンポにも、しつけていう大事な使い道があってよかったわん♡ わうっ、ぐに、ぐにい♡ わ～っ♡ もう勃起したと思ったのに、どんどんごつごつ♡ びきびき♡ 男の子の形に変身してる～♡ ポチのおてて、すべすべ？ ぷにぷに？ でも……うっとりしてるオチンポ、強く引っ張っちゃって、ぐいっ♡

☆尊大な言葉を、ポチはさも親愛の告白のように甘ったるくそぶく。より巧妙に、「ご主人」の肉体に権力構造を染みこませていく。

(05:23)

わう、わうん♡ すご～いご主人♡ おちんちん引っこ抜かれそうになっちゃっても、ちんちんの姿勢崩さなかったね♡ わおっ、ふふふ♡ わんちゃんのしつけは、こういうのが大事なんだって、ポチベンきょうしたよ♡ ご主人がだいじだいじ～に思ってるところを握って、押さえつけて、でもポチの気分一つで好きにできちゃうんだぞ～♡ って、「かいぬし」には逆らえないっていうのを、ご主人の身体に覚えてもらうんだあ♡ わん♡ ご主人、覚えた？ ポチになんでも言うこと聞かされちゃうんだって、学習したわん？

☆ポチの腰で、ふいに情欲が燃え上がる。にやにや笑いをまぶした声で「ご主人」に難癖をつけ、不安定な身体を小突く。

(06:20)

……あ♡ 何、その目♡ わふふ♡ まだ人間気分が捨てきれてないみたいだわん♡ はだかんぼなのに♡ おちんちん差し出して、抵抗する気もないのに♡ ポチのこと、まだご主人のかわいいわんちゃんだと思って、「くつじょく」感じて、恥ずかしがる目～……ごしゅじいん♡ ちんちんポー

ズ、足の裏で踏ん張って、とってもバランスとりにくいよね♡ まっすぐ立ってるのおちんちんだけだわん♡ だからこうやってポチが肩、押しちゃえば～、えいっ♡

☆倒れ、無防備な腹部を晒した「ご主人」を楽しげになじるポチ。一言一言に従わせることで、「ご主人」の意識に甘い毒をしみこませていく。

(07:12)

わう～っ♡ ご主人どさどさって倒れちゃった♡ おへそ天井に向けてごろんするの、うれしい？ねっ、でもポチ、ご主人に休んでいいよなんて言っていないわんっ♡ ちゃ～んと、寝っ転がってもちんちんっ♡ お腹丸出し降参ポーズ♡ おてて固めちゃって動き取れないくせに、おちんちんだけうれしいうれしいまっすぐ気をつけっ♡ お肉のしっぽ立て立てしてきもちいいね、ご主人～♡

☆ポチは「ご主人」に、赤々と反り上がったペニスを見せつける。ペニスが勃起しているという事実だけで、「ご主人」に従わせてしまう。

(07:57)

はっはっ、はっ♡ そ～んな状態で、ポチのこれ見たらすごい♡ なんかご主人「きょういく」したら勝手に皮むけて、びくびくあつあつ亀頭さん勝手に出てきちゃうようになった、キンタマぶらぶら反り返りチンポ♡ んひっ♡ 見てる見てる♡ 肉サオ先っぽくんくん持ち上がってるの目に焼きつけて、自分のおちんちんもあんなに強そうな動きできたら、ポチに負けちゃわなかったのかなって、一人前のオスのまねっこしてちんちんぴんぴん、楽しいね～っ♡ あう.....よだれ、出てきちゃった、わふっ♡

☆ポチは身をかがめ、「ご主人」の局部で鼻を鳴らす。上目遣いの視線がぶつかり、ポチと「ご主人」、獣と獲物の倒錯的な意図が言外に絡まる。

(08:55)

えへへ.....じゃあポチが、ご主人にちゃ～んとオスが残ってるか、確かめてあげるね♡ ぷりん♡ って上がったお尻の真ん中めがけて、しゃがんで、お顔近づけて.....すんすん、すんすんっ♡ わう？ どうしたわん、ご主人♡ 犬ならお股嗅ぎ嗅ぎなんて、あいさつみたいなものだけど、人間はそんなことしないから♡ 恥ずかしがるふりして、人間ごっこ♡ わふふ♡ でも結局、人間のふりしてるだけだから、犬まで「たいか」したご主人は～.....えいっ、むにっっ♡

(09:53)

んおお、くしゃいっ、くしゃいい、っひい、一つ♡ お鼻っ♡ におい、入って、くるうう.....～っ、ね♡ きんたまぶくろでクッションみたいに、ポチの鼻先受け止めちゃっても、いやな気持ちにならない♡ 嬉しくなっちゃ、うんだわんっ♡

☆ポチの鼻腔を「ご主人」の淫香が満たす。吸気と呼気の境目がなくなる勢いで、犬の本能のままふんふんと鼻をひくつかせ、恍惚と頬を緩ませるポチ。

(10:17)

あっ、あっあ、っすっ、すうう、ふぐっ♡ ぐるる、くん、くんくん、うーっ♡ しょっぱい、甘いつ、あぶらっこい、い〜……はっはっ、はへっ、へえっ♡ お口開けて舌出して、味がするくらい「のうこ」キンタマ臭、べろの上で転がし、へっ、へっ、オス♡ オスう♡ あーっあーっ、ポチっ♡ ご主人の蒸し蒸し小ぶりキンタマ吸いこんで、ふう〜っ！

☆かと思うと、陰嚢に隠れて見えないポチの口角が、いやらしく吊り上がる。下品な所作で鼻先を使い、「ご主人」の秘所を掘り当てる。

(11:00)

す、ううう……あへ、っ♡ お、ご主人っ♡ こーんなに香ばしいオスキントマの香りに混じってえ、はあ〜……甘酸っぱ〜い、肉穴♡ のにお〜い、どこから漂ってくるわんっ？ えへえ、ほらポチ、お鼻でござそって、柔らかタマ肉、かきわけてえ、ふごっ、ふご、お〜っ、わふふふ♡ ポチの湿った鼻先で、ご主人の赤ちゃんミルク袋、たぷっ♡ って持ち上げちゃった〜……ね♡ ねっ♡ ポチ、今すっごく、舌べーってしたい気分なんだあ♡

☆ほどよく綻んだ穴に舌先が沈むと、「ご主人」の身体に緊張が走る。縦横に舌を走らせ、ポチは喉をかすれさせて笑う。

(11:59)

ほら、いくよ、きんたまぶくろの裏、べえ〜……ちゅぶ、っ♡ んれろ、お、わふふ♡ ぎゅうっってお肉が盛り上がり、そのあと一気に奥にひっこんで、あ・な♡ ポチペロペロしちゃうわん♡ にちゅ、れちゅ、んっちゅ、べえっ♡ えへ〜♡ なんだかしわしわになったお肉の一本一本にしょっぱくて難しいお味が染みこんで、おおっ、わお〜んっ♡ ポチのキンタマの好きな味、ちゅっ、ちゅぶ、んるる、ぐるるう♡

☆ポチは「ご主人」の羞恥を煽るだけのために、とぼけた調子でわかりきった質問を投げかける。唾液が言葉尻を溶かし、どこかしら舌足らずなしゃべり方が背徳をかきたてる。

(13:07)

ええ〜、っる、るる、ぶちゅあ、あう〜♡ ご主人この穴何かなあ〜♡ ポチのべろ先でつつかれるときゅんきゅんきゅんっ♡ って縮んで真ん中盛り上がっちゃう穴あ♡ なのに生温かいシロップ垂らして、べるるっ、ぷ、っちゅ♡ 舐められるときもちいんだぞ〜って誘ってるあ・なっ♡ それに、上目づかいで見えてるよ♡ にゅっふふ♡ 舌、ぬぶっ♡ っあ、あふ♡ 穴に滑りこませちゃうと、ご主人のおちんちん、くいくい手招きして、ポチにきて〜、って、へ、言ってるみたあい、うう〜……♡

☆ポチは「ご主人」の自由意志で身体を差し出させたほうが屈服に近づくことを知っている。羞恥を感じてひくつく肉穴を想像し、ポチのペニスは亀頭をたくましくさせる。

(14:20)

ね、ご主人♡ ポチにこの穴、ちょうだい♡ ね♡ ポチ、お股でびきーん♡ 肉筋ほじほじ棒使っちゃうから♡ ご主人は自分で、わっふふ♡ 確かめやすくするんだわん♡ この、くっさ〜いオス汁詰めてるの忘れてだらしな〜く垂れ下がってるたまたま、両手を添えて、持ち上げてえ……えへ♡ えへへ♡ ご主人、脚広げてキンタマたくし上げて、楽しそうだねっ♡ おふとんみたいに、びくびくおちんちんにタマ袋乗っけちゃってえ……わう、っ♡

☆ペニスが肉穴に飲みこまれていくと、いやが上にもポチの腹筋に力が入り、感極まる。初めての時とは比較にならないスムーズさで交合が果たされ、ポチは軽くのけぞる。

(15:12)

えへへ♡ ご主人♡ ポチが腰、突き出しちゃったらっ♡ 入っちゃうんだから、また負けちゃうんだから、なっ♡ 息吸って、すうう……そ、れっ、にゅ、ぶっ♡ あうう、う♡ う〜♡ これっ、この、お外よりあったかいお肉に包まれていく、感触、わおっ♡ あ、アナル舐めでほぐしたからっ、ずぶずぶ入る、簡単に犯されちゃう、ゆる穴ガバマンコ、残りは一気にいく、わんん……ふうう、ぬぷ、う〜、うおっ♡

☆反動で「ご主人」の胸に倒れこみ、仔犬らしく手のひらの愛撫を求めるポチ。飼い主と犬の親しげなコミュニケーションの間にも、接合部は親密な水音を奏でている。

(16:07)

うっ、ううう♡ はいった、わんっ♡ ……わふふ♡ ね♡ ご主人っ♡ はー、はあーっ♡ やっぱり、「えっち」の穴だったね♡ 今日、おけつで交尾、しちゃったああ……♡ あうっ、う〜っ♡ ポチ、ご主人のお胸に、ぼふっと飛びこんじゃうっ♡ ご主人、ぎゅってして、ほめてほめて、ポチ、ちゃ〜んと「ぜんぎ」してよだれだらだら肛門オマンコ作って、オチンポハメられてえらいね♡ って、ご主人のごほうび、ぎゅう、っふっ♡ くう〜ん♡ くう、う〜ん♡ わう〜♡ 嬉しいとちんちん太くなる、わんっ♡

☆接近すると、種類の違う両者の体温が混ざりあってまどろみに似た雰囲気醸す。ポチは酔ったような目の色になって、間延びした声で素直な感慨を告げる。

(17:09)

ね〜♡ ねえ、え〜っ♡ ポチとご主人、のっ♡ オチンポと、オマンコ♡ 元気だね、かしこいね、うう、っん♡ ぶっといデカチンポが、ずにゅっ♡ って奥に入ってお肉の壁叩いちゃうと、ほぐほぐオマンコが、踏ん張ってずるずる、っふ〜っ♡ おサオ押し出してくる、うわんっ、わんっ♡ ポチとご主人がぎゅーぎゅーしあってる間もずっと、勝手に、交尾♡ してるっ♡ えへ、「せいしょくき」っていうんだよ♡ 赤ちゃん作るところっていう意味なんだって♡ ねっ、ポチたちの生殖器、えらい、ねえっ♡

☆ポチが身を乗り出すと、より直接的で淫らな体位になってしまう。ポチの腰遣いは一撃ずつが重く、しかも無尽蔵のスタミナによってとめどなく繰り返される。

(18:07)

はっ、はっ、ね、ポチたちももつとがんばってぐずぐずえっち、しなきゃダメわんっ♡ は、ふっ、ほら、ポチがぐーって前に出たら.....わう、んっ♡ ご主人の、でっかいオスお尻い♡ でんぐりがえしみたいに持ち上がって、お尻の穴が上向いて、っ、わうううっ♡ ポチの身体の重みだけで勢いがついて、ん、ぐっ♡ もっと「ちつおく」の折れ曲がったところ、ぐちゃっぐちゃっ♡ って掘れる、わんっ♡

☆「ご主人」の耳たぶを撫でるポチの息吹は低く切実で、交尾に集中していることがわかる。何度も「ご主人」の好意を確かめて、ひたむきな独占欲を満たす。

(18:56)

あ、お耳も、こんなに近いんだあ.....わふふ♡ セックス、しなが、らっ♡ ご主人とひそひそ話できるなんて、しあわせ、わんっ♡ うっ、おっ、おう、ふ〜っ♡ ねっごしゅじ、んっ♡ お尻すき？ お尻ほじってくれるポチ、すき？ んん、つぐる♡ オマンコふわとろクリームみたいにかき混ぜて、ぱんっ♡ ぱんっ♡ うう〜っ♡ お尻叩いてセックスの音させるっ♡ ポチのカリ首ふとふとでっぷりオチンポ、すき、い〜っ？ い、つい、ひ♡

☆もったいぶるように何度も息を継いで、ポチは「ご主人」の秘かな不品行を暴く。にわかにかわばった「ご主人」の身体は、しなやかな肉の檻に閉じこめられて身動きが取れない。

(19:50)

はっはっはっ♡ はっはっはっはっ♡すきに、決まってる、よねっ♡ だってご主人、わふふふっ♡ お肉みっちりの棒が出入りするのに隠れてこっそり♡ んっ♡ 太もももぞもぞ♡ オマンコもじもじ♡ ってして♡ 当てようとしてる、ポチのオチンポで掘り掘りさせようとしてる、わう〜♡ ご主人のいちばんよわ〜いところ、負けたがってるところ、ポチと交尾しすぎて覚えちゃった、オスケツマンコのきもち〜ぷにっとなんぽん.....「ぜんりつせん」っ♡

☆「ご主人」の痴態を明けて透けに描写するポチ。心底「ご主人」を愛らしいと思っている口ぶりが、かえって羞恥を沸き立たせる。

(20:45)

わふふ♡ ポチが気づいてないと思ってたんだ〜♡ ポチ、とっくに気づいてたよ♡ かわいいご主人、わんわんわん♡ へっへっへっ♡ あれれ？ このこりこりしたところにオチンポ当たるとご主人も〜っとかわいくなっちゃうぞ、って♡ おばかさんの犬みたいに舌がしまいきれなくなって、目がうつろになって♡ あへ〜♡ あへ〜♡ お顔とろとろしちゃうからっ♡ ご主人ここがだいすきなんだ♡ って♡ 知ってたわんっ♡

☆快感を取り繕いきれない「ご主人」を、膨れてはいても柔らかく脆い前立腺になぞらえ、ポチは意地悪く笑む。あくまで二人の共犯関係だとうそぶき、「ご主人」を混乱させる。

(21:31)

あのね、オチンポは強いから、弱っちいオマンコの隠し事なんて、すぐに気づいちゃうんだよ〜♡
ぷくぷくぷく♡ って膨らんで、すぐ引っかいてほしくなっちゃう前立腺さんとおんなじ♡ ご主人も、きもちくなりたがるとすぐにお尻ぷりぷりさせてポチのこと勃起させてくるでしょ♡ わう、っふふ♡ 甘酸っぱいメスケツの香りぷんぷんさせて、いやがるふりしながらポチにどすんって倒されて乗っかられてばこばこ腰振ってもらえて最高〜♡ って、それがご主人っていう、オマンコっていう生き物なんだ、わう〜んっ♡

☆ペニスを自在に扱い、「ご主人」の前立腺に敗北感を定着させていくポチ。腰をねじり、喉を搾って感動の喘鳴を漏らす。

(22:31)

ねっ、ね、ポチだってオチンポ生えてるんだから知ってるわん、前立腺、ってっ♡ あれでしょ、オチンポがちがち〜っ♡ ってさせようと思って、お尻の穴きゅう♡ つぼめちゃったら、腰の、お、っく、くふうん♡ 熱いのが溜まってる感じがするところ……わ、わうっ♡ ごめんなさいご主人っ♡ いじってほしくてこりこり勃起してた前立腺に亀頭さん当てて思いっきり、うおっ、わおっ♡ 膨らませちゃった♡ お腹苦しい♡ おちんちんつらいっ♡ よわよわメスボタン切ないよ、お〜っ♡

☆ポチは後ろ脚のバネを使い、的確に「ご主人」の前立腺を掘り穿つ。激感に朦朧とするご主人を舐め回し、捕食のまねごとを演じてみせる。

(23:30)

わふっ、ほらっ、ほ、らあ♡ ここでしょ、ここっ、ポチがつま先踏ん張って、腰かくっ♡ かくかくっ♡ 揺らしちゃうとケツ汁どろどろ絡んだかったい先っぽでえくれる、ご主人、前立腺っ♡ わうっ、わうわう、うう♡ 溶けちゃえ、ご主人雑魚前立腺掘られて溶けちゃえ、どすどすっ♡ あ〜、あ♡ お口ぽかーんして、ぺろっ、ぺちゃあ、かわいなお顔、ポチが舐めてあげる、食べてあげる、ぱくぱく、前立腺潰れて柔らかくなったご主人のお肉、ポチが、ぺるっ、ん、ん〜、お♡

☆「ご主人」の無抵抗をいいことに、その肉体を鮮烈にたぎる情欲のはけ口にしていくポチ。自身も時折あらぬ方向に眼球を転がし、自失すれすれの淫感を味わう。

(24:32)

はっはっはっ♡ ご主人、ご主人涙、出てるう、あえ〜っ、わふふっ♡ せっかくの人間脳みそ、ポチのデカマラ、前立腺で受け止めるのにぜ〜んぶ使って全身ゆるゆる♡ 止められない、わんっ♡
ねっ♡ オマンコのスイッチ入れられちゃうとおちんちんっ、んぐ〜っ♡ ふっ、おちんちんもっ♡ 溶けて〜、なんだかわかんないお汁じわじわ染み出てきちゃう♡ はっはっ♡ ポチ悪い気分になる♡ 泣いてるおちんちん、もっと泣けっ、わお、つぐるるう、ざこ汁漏らしておちんちん泣けっ泣けえ〜っ♡

☆腰を振りたくるほど、ポチの口から野性的な言葉が溢れ出す。真上から「ご主人」を見据え、支配を身体に教えこむつもり満々。

(25:26)

あうっ、おしおきっ、わるいこはおしおき、つぐっ、ケツ穴よだれで濡らしちゃうくらい前立腺欲しいのに人間のまねっこして隠しちゃう、わるいこのマゾのご主人っ♡ わ、う～っ♡ うう♡ ほらちんちん泣いて謝ってるから許して～♡ って、ううぐっ♡ 前立腺ぷりぷりして負けるからっ、突かれた瞬間負けケツぎゅうう♡ って締めるから許して、えへっ、へ、ええ♡ っしてっ、ケツマンでポチのオチンポに媚びて、顔色窺って、負けマゾマンコでポチに「くっぷく」、「ちょうきょう」して、って、わおおおっ♡

☆目論見どおり身体を従わせると、ポチはふと甘い声を出す。「ご主人」の魂までも墮落に誘い、反論など許されない野蛮な抽送を繰り返す。

(26:20)

うっ、うーっ♡で♡ でも♡ しかたないんだよ、ねっ♡ ご主人がチンポに負けて恥ずかしい大股開きのオマンコポーズでふにやふにや笑っちゃうの、だって、ご主人ってオマンコつけたわんちゃんなんだも～ん♡ わふっ♡ ねっ♡ ねっ♡ ご主人♡ あー♡ あー♡ なさけない声で緩んでる喉、力入れて、「わんっ♡」って鳴いて♡ そしたらもときもちくなれる♡ うっ、うっ、ほら、あう♡ オチンポさんも待ってるよ～♡ わんわん鳴いちゃうマゾケツメス犬さんの前立腺♡ こりこりしてほしかったら、「わんっ♡」

(27:14)

ね、ね、ご主人はわんちゃんの中でもとってまかしこいわんちゃんだからわかってる、わん♡ ポチが耳立てて聞いたいたげるから♡ オマンコで、「わんっ♡」おけっ掘られてちんちんとろけて「わんっ♡」前立腺「わんっ♡」「わんっ♡」「わんっ♡」.....わふふ♡ 息、吸ってえ～.....わ、お～～んっ♡

☆もはやその場には、互いを貪りあう二頭の獣しか残っていない。ポチは咆哮を交えながらペニスを打ち込み続け、先端からは粘り気の強い汁が射精顔負けの勢いで飛び出す。

(27:45)

うおっ、うお、うおおおっ♡ おっ♡ おおお、～んっ♡ 鳴いちゃった、ご主人、鳴いちゃった～、ポチのオチンポで「めすおち」しちゃった、がおおっ♡ ポチ、ぶっといちんちんでご主人に言うこと聞かせた、あうあうあう、う～っ♡ う♡ ご♡ ご主人が♡ 必死にわんわんっ♡ オマンコ掘れ掘れわんわんっ♡ っするからポチ.....っ♡ ぐう、るるる～、う♡ あっ効くご主人の弱っち～い鳴き声ポチの種付け袋ふっくらむちむちさせてくる、がううっ、わんわん尻ほじセックス、すっごいわん～っ♡

☆愛しいはずの「ご主人」を睨むように見下ろし、汗みずくの腰をひたすら上下させるポチ。人間の言葉を忘れてしまいそうな狂熱の中で、唸り吠える。

(28:34)

がうっ、がううう、うんっ♡ うんっ♡ ううう♡ わんわんわんって鳴くのっ、ご主人っ♡ 鳴いたらケツ犯してもらえて、前立腺ごりごり潰してもらえて、う〜っ♡ 人間じゃないから覚えちゃったんだっ♡ 負け♡ 犬♡ 負け犬、ううっ♡ ぐるる、犯してる犬と、犯されてる犬とどっちがえらいか言っっ.....

(29:10)

っ、違う〜っ♡ 人の言葉じゃない犬なんだからきゃんきゃんっ♡ でしょ、がおっ、言うこと聞かないとケツマンコもって食べちゃう、ぞっ、んっんっ、んふう、うう♡

☆絶頂を予期して緊張する性器どうしがきつく組み合い、わずかな摩擦でも爆発的な快感をもたらす。ポチの視界に銀粉が舞い、「ご主人」がどうしようもなく輝いて見える。

(29:28)

すっごいすっご、おおお、いっ♡ ご主人より上になりながらご主人「だく」の、ちんちん好きすぎるっ、わうっ♡ はっはっ、はう〜ん♡ 汗だらけのお尻ならべてばっちゅんばっちゅん動かしまくるのも♡ 膣奥ねちよねちよがまん汁塗りつけてとろかすのも前立腺すり潰して急に締まるケツに肉サオぎゅー♡ って抱っこされる、のも、わおっ、わお〜っ、ご主人ご主人、ごしゅ、じんっ、うぐーっ♡

☆所有と隣り合わせの愛欲を叫びながら、一心に「ご主人」を求めるポチ。痛々しいまで膨らんだペニスの切っ先が、どくどくと音を立てて疼き、ポチの脳を弛緩させる。

(30:10)

ご主人もうっ、けちゅまんこっ♡ ぶるぶる震えて止まらなくなっ、ほらポチにイかせてほしいわん♡ ポチに濃ゆいの出してほしいわんっ♡ って、ん、んっ♡ わふふ〜っ♡ メス犬アクメ欲しがって、わんっわんっ♡ ポチももうオマンコ溶かし汁噴いてお射精の練習してるしっ♡ こんなに「あいしょう」よかったら「つがい」になるしかないわんっ、わふ、わふふふふっ♡

☆ポチは、ある意味彼女らしい無邪気な笑みを取り戻し、「ご主人」と交わり続ける。ただ一度得た凶暴さは失われることはなく、「ご主人」にとって幸せな虐待には変わらない。

(30:46)

つがい、つがい、二匹で一匹のわんちゃん、は、っぐうっ♡ オチンポわんわん♡ オマンコわんわん♡ ちんちんずぶっ♡ ってハメこんで完成するずーっとなえちするだけの生き物、わうっ、はっはっあっいっ♡ つがいうれしいオス汁出るううう♡ ポチもうキンタマ上がってチンポ穴ぐちょぐちょでいつでもお射精できるわおっ♡

☆とうとう「ご主人」の口から射精をねだらせてしまうポチ。雄と雌が、人間と犬が入り混じり、咆哮に似た言葉が次々溢れる。

(31:20)

ご主人はっ、メスはどこに出して、「たねつけ」♡ してほしい、わんっ！？ えいっえいっ♡ はずかしがっちゃだめ、え〜っ♡ 前立腺にきまつてる♡ イっちゃいそうでこりこりに硬くなってる前立腺でえ♡ どくどくどくって熱くてくっさい「たねじる」噴射のいきおい感じたら人間やめちゃうくらいイクんだからっ♡ がうう〜、っんっ♡ 今はポチがオスなんだから前立腺してほしかったら素直にっ♡ ケツ穴ぶぼぶぼ鳴らすより先に前立腺ほしくてくんくん鳴いて、あう、う、う……っ♡

☆隷属と従順、ポチと「ご主人」のいびつな心どうしが淫らしく結びついた瞬間、性器も絶頂する。陶然と愛の喜びをかみしめる太い喘ぎであたりを満たす。

(32:13)

あっ♡ もう上がってきたチンポの中広げて種きた種きた、わ、っふうう♡ ねっもうご主人前立腺に射精されたらポチから離れられないよねっ、わうわうわうっ♡ がうっ♡ ポチもいっしょ、ご主人とずっと、えへ、わふっ♡ うっイくイく、イクっ、ご主人っ♡ 「ポチのおんな」になれっ♡ 「ポチせんようおトイレ」になれっ♡ 「ポチだけのご主人」になれえっ♡ ううううお〜っ、おんっ、おおお〜〜〜んっ♡

☆ポチは射精の長さと同じ奇妙な遠吠えをして、感涙にむせぶ。もっと奇妙なことには、「ご主人」の尻も、まったく同じ感覚で痙攣している。

(32:57)

おお——、っ♡ おう、うう〜、んお、〜ほっ、わお、うう——っ♡ しやせえ、えへへへ、う——っ♡ って唸るとたくさん出る、あつまたちんちんの奥がぴーん♡ してっ♡ しっぽぴーんして耳ぴーんして脚ぴーんして、きゅふう〜んっ♡ ごっ、ご主人、もお♡ お尻きゅ〜って丸めて、前立腺「めすいき」しちやってるわん、わんっ♡ えへ〜♡ お顔まっかで、かわいいっ♡ 舐めちゃうわんっ、んにゅ、ぺちやあ〜、あっポチまだ、お射精途中、だったあ♡ んん、ふう、〜っ♡

☆愛らしい仔犬の所作で「ご主人」にすりつくポチ。噴精直後の獣の香気が「ご主人」の鼻をくすぐり、親密なのにインモラルな感覚を呼び起こす。

(34:06)

わふふっ♡ ねっご主人、んっ♡ ポチ、お射精止まったよっ♡ だっこして、お尻おろしてぎゅーっ♡ して♡ わんわんっ♡ ご主人っ、だっこ〜っ、ぎゅ、っあ〜♡ すん、すん、ご主人すっごく汗くさいわん♡ あれ、ポチの匂いかな？ すんすん、はふ……あう♡ このにおい、えっちした後のまぜまぜ汗♡ 入れっぱなしオチンポ、硬くなる、わうう〜♡

☆犬の本能ゆえか、ポチは過剰なまでに「ご主人」からの愛情を確かめたがる。頭を撫でられると、餅のように頬を緩め、温かな笑いをこぼす。

(34:57)

はふ〜っ……♡ ねっご主人っ、ポチあったかいでしょ、毛並みふわふわでしょ〜♡ まだ犬のころ、おふとんの中で湯たんぽがわりに抱っこしておやすみしてくれたの、覚えてるんだ〜♡ ねっ、ご主人、そのときは、ポチのこと抱っこしながら、お尻掘られちゃうって♡ かわいいポチの忠犬メス犬にされちゃうなんて、思ってたかった、わん♡ んっ、んっ♡ ポチ、えっちするときはご主人のご主人なんだもんっ♡ えへへへえ……♡

☆ポチは「ご主人」の胸板にそっと手を添え、鼓動を確かめる。ふと笑みに差した不安も「ご主人」の言葉一つでほどけ、犬らしい親愛を示して抱く力を強める……

(35:44)

ね一つ、でも、ご主人、ご主人、ポチのこときらいになってない？ ポチ、ご主人にいっぱい吠えちゃうし、お尻も犯して、ひどいこといっぱい言ってメスイキさせちゃうけど、ポチのこと、もういやってなって、捨てちゃわない？ほんと？ポチのことすき？ポチとずっといっしょにいてくれる？……えへへ♡ご主人、ポチもだいすき♡お鼻、噛んでいい？だいすき一つてなったら、かぶってしくて、えと、ポチにもよくわかんないんだけど……うん♡それじゃお鼻出して……あ〜ん、かぶ、っ♡

第5話 ブリーディング

☆早朝の爽やかな空気の中、大きく息を吸いこんで伸びをするポチ。その手に握られた輪からはリードが伸び、「ご主人」の首に繋がっている。

(00:01)

ふあ……っ、わう～ん、のび～っ♪ えへへ、ご主人、おさんぽってやっぱりいいねっ！ 空気がきれいなかんじがして、息を吸いこんだら、ちょっと青臭いみたいな、お外のにおいがしていいきもち、わうう……あっ、ごめんねご主人、引っ張っちゃったわん？

☆ポチはいたずらな笑みを浮かべ、軽くリードを引っ張る。まんざらでもない「ご主人」の様子に、早くも身体の中で熱が形を持ち始める。

(00:33)

わふ♡ これさえなかったら、かいぬしとわんちゃんの楽しいおさんぽなのに、ねっご主人♡ ポチの持ってるわっか、ひもがついてて、反対側は……ご主人の首をぐる～っ♡ 首輪♡ ご主人を引っ張ってるのはポチなんだよ～って、えいえい♡ んふ♡ ぐいぐいってすると、ポチのほうに身体が倒れちゃって、わう♡ ご主人、ポチに「しつけ」されちゃって「じゅうじゅん」に言うこと聞いちゃうご主人、かわいい……あ、うっ♡

☆ズボンに浮いたペニスのシルエットと「ご主人」を交互に見やり、ポチは深い吐息を漏らす。用心深く「ご主人」を監視しながら、草むらに分け入る。

(01:24)

あっ、もうおつきくなってきちゃった、んう♡ ポチのあつあつしつけ棒♡ 見てる、ご主人がおいしそう～な目で、見て……はっはっ、はあっ♡ あう、～♡ ポチっ、ポチびくびくして、でもおちんちんさわるとびゅーしたくなっちゃうから、むにゅむにゅ、ぷにゅぷにゅ、たまたま揉んでるんだあ♡ わ、おっ♡ おちんちん伸びる、う♡ えへへ♡ ご主人、そろそろおトイレの時間だわん♡ その草むら、一緒に入ろうね？

☆気が遠くなる新緑のにおいの中で、人間と犬を隔てる理性を溶かして笑うポチ。頬を染め、服を下ろす最中でも、片時もご主人から目を離さない。

(02:16)

はふ……っ♡ ここの草、柔らかくてすぐに倒れちゃうし、背も高くないから、ご主人とポチのこと全然隠れないわん♡ ね～っ♡ こんなところでお服脱いじゃうのって、もともとはだかんぼが大好きで、むりやり人間のふりしてお股隠してるわんちゃん♡ くらいだよな～、ご主人、わう♡ ほら、ポチが手伝わなくても、四つん這いになって、お尻出せる？ わんっ♡ えらいえら～い、じゃあポチも、おズボンとおパンツ、まとめてずる～っ♡

☆むき出しになったポチの股間で、ペニスが強欲に身を乗り出している。静かな声で、かすかに残った「ご主人」の人間性をくすぐっては、またペニスを身震いさせる。

(03:11)

わっ♡ ご主人、いい天気のお空の下で、お尻出してるっ♡ 四つん這いのオスのお尻、両方のお尻のほっぺたがむっちり♡ ぶりんっ♡ ってはじけそうに丸まったおっきなお尻、はずかしいのかな？ お膝くっつけてまっかつか.....あ、お〜っ♡ あ、あ、ポチねっ、おちんちんの穴がもう、にちゃにちゃしてきちゃったあ.....へっへっへっ、交尾、交尾交尾っ、あ、おへそぺたぺたオチンポが交尾、したがつってるう、わんっ♡

☆「ご主人」に覆いかぶさると思いきや、しなやかな動きで尻どうしを突きあわせるポチ。股間に差しこんだ手が、この先に待ち受ける冒涇を明示している。

(04:00)

ほらほら脚、開いてご主人〜♡ お股開いておちんちんぶるっ♡ ってこぼしたら、お尻もゆったり開いちゃうから♡ わふ、ふっ♡ それ、じゃ、ポチはっ、はあっ♡ ご主人の後ろで、乗っかるんじゃないく、って〜♡ ご主人のお尻に、ポチのお尻向けて、お顔どうしがそっぽ向いたへんな姿勢になっちゃった♡ でも、でも♡ オチンポ、あっオチンポ、わう♡ かったい棒、ぎゅって握って、ポチ、えへへ♡ ご主人のお尻のほうに、気をつけオチンポ、おじぎさせちゃう.....わ、おお♡

☆ろくに位置を確かめもしないのに、当然のように「ご主人」の尻穴がポチのペニスを飲みこんでしまう。ポチは膝を軽く浮かせて、器用に尻を押しつける。

(04:57)

ご主人、ご主人、お尻の穴、緩めといてねっ、うう♡ ポチのオチンポの先、っぽ、やわらか〜いお肉に当たったらすぐ、にゅぽっ♡ って食べちゃえるように.....しっぽみたいに後ろ向き勃起、肛門のねちよねちよ「ねんまく」、亀頭で見つけたわんっ♡ えへ、入るっ、入るよご主人、お尻持ち上げて真後ろに、ずぶう、〜っ♡ っふっ♡

☆長大な肉竿が収まると、ポチは無垢な尻をぶるりと震わせて息をつく。無様な獣の体位であるにもかかわらず、性器どうしはがっちり噛み合って、離れる気配もない。

(05:41)

あっ♡ おっ、お尻がぺたんっ♡ ってくつuitた、オチンポ全部入ったっ、ふう〜、っ♡ ぐるるっ♡ うわあ、うわあご主人っ♡ 交尾、した、わん♡ こんなわんちゃんまるだしのオチンポ「そうにゅう」、うっ、人間オチンポこんなことするようにできてなくてお尻がひょこひょこってしちゃう、のに、ケツマンコっ、中あ♡ カリ首ずっぽりハマって、取れないっ、チンポ入ってるう〜っ♡

☆ポチは本能的に独占欲を強め、抽送しながらもきょろきょろと落ち着かない。あたりを警戒しつつ、下半身のバネを活かして腰を打ちつける。

(06:23)

あう、あうっ♡ わんちゃんがお尻向けっこしてセックス、ちゅぷうっ♡ する……のはっ♡ 周りから可愛い動物が来ないか、みはりながらエッチ、する、わううっ♡ だっ、だってお外♡ 誰が通りかかるかわからない道の横で、えへへ、ご主人もポチもずっぶり交尾きもち～っ♡ うううっ♡ お尻突き上げちゃって、ほら、おまけに、お膝浮かせて、ぱんっ♡ ぱんっ♡ ぱんっ♡ あおおお～っ♡ 人間失格わんわんセックスまっさいちゅう♡ ほかの人に、見つかったやうっ♡

☆されるがままのご主人を愛玩するように扱い、尻脛に埋めたペニスを肥らせるポチ。「ご主人」の嬌声が強まる場所を見つけ出し、赤熱した亀頭をにじりつける。

(07:15)

もお～っ、ご主人もっ♡ ちゃんとまわり、見ててよおっ♡ あ～♡ もお♡ しょうがないなあっ♡ わ、っふふ♡ ふう♡ ご主人、オマンコ～っ♡ オチンポぶくぶくで直腸、マンコっ♡ ポチの形に「ちょうきょう」されちゃうので頭いっぱい♡ う～♡ う～～♡ ってっ♡ なさけないマゾ声出すのがお仕事だもんねっ♡ いいよ♡ ポチがチンポ、ぐりぐり、ぐりいっ♡ うう、っ♡ ケツこねながら見張ってあげるから、ご主人はケツマンよだれお肉でオチンポしごく仕事、メスの仕事っ、がんばってね～っ♡

☆途切れ途切れの「ご主人」の喘鳴を聞き漏らすことなく、ポチはペニスを抜き挿しし続ける。嗜虐欲と倒錯の入り混じった感慨で、とても見せられない表情になっている。

(08:09)

うおっ、おっ、おお♡ もおご主人っ♡ メスごっこ、じょうず、すぎいっ♡ うう、うーっ♡ ポチっ、ちんちんでっかく、なっちゃうう♡ わ、ふっ♡ でもご主人、だんだん声、がまんできなくなっちゃってるもんね♡ 前からでも後ろからでも、こうやってお尻くっつけ交尾っこでも♡ ほら、おちんちん奥までずぶうっ♡ って入ると、すぐケツマンコお肉がきゅんきゅんっ、締まって♡ わうわうっ♡ デカチンぴったりくっついて、きもち一ところにすぐ当たって、おっお～っ♡ ってっ♡

☆ポチは肉体の反応から、穢れた獣の交尾への「ご主人」の順応を見透かし、哄笑する。笑い声とは裏腹にペニスは肉筋を浮き上がらせ、着々と絶頂への準備を整えている。

(08:58)

あっあっ、でも、おう～っ♡ う♡ ご主人このわんわん交尾がだいすきになってる♡ だいすきなポチのお顔も見れない、オチンポとオマンコだけなかよしなかよしちゃうだけのっ♡ 「へんたい」セックスで、んん、後ろ向きにずぼずぼ、ずぼずぼケツほじられるのお気に入り、すぎてっ、えへ、えへ、えへへっ♡ きんじょの人にっ、おっきな声で交尾しないでくださ～い♡ って怒られちゃいそうだから、がうう、っじゆるう♡ こうやってお外で開放的「こうびけつごう」しちゃってるんだ、わんっ♡

☆緊張を行き渡らせ始めた「ご主人」の肉体を器用に押し、ポチは運動を激しくしていく。ひととき高くなった水音に負けじと唸り声をほとばしらせる。

(09:46)

わうわうわう、わううっ♡ ごしゅ、じんっ♡ また♡ またやってる、わんっ♡ ちっちゃなケツマンコ穴♡ イ、くっ、ためにっ♡ おっきいお尻ぶるぶる震わせて、おけつがメスになろうとしてる、う～、ダメっ♡ ご主人勝手に、「かいぬし」のポチのこと無視してケツ締めちゃだめ、ぐるるっ♡ ご主人はポチのっ、ポチのカリ首ぶっくりつよつよチンポで負けるっ、マゾするっ、メスに、なるっ、んだっ、わおおお～ん♡

☆不随意の絶頂感にポチの腹筋が収縮し、詰まった艶声が漏れる。視界をちかちかさせながら、睪丸を疼かせて精を送り出していく。

(10:30)

わっ、わお、わうっ！？ あっ、あっポチっ、きんたま、ぶるってした♡ ぷるぷる柔らか陰囊が硬くなって持ち上がって、ぎゅうう、つぶっ♡ イきっ、そうになって、うう、出るお汁出るっ、作りたて種汁膨れたオチンポ穴にどろどろ流れていっちゃう、ごっ、ご主人をメスにしちゃう、オスのお汁がっ、ふううっ♡

☆牡の熱狂的な情欲に駆られ、「ご主人」を威圧しながらペニスを打ちこむポチ。しつこく問いかけ、半強制的に「ご主人」に種汁を受け入れる体勢を整えさせる。

(11:04)

ほらっ、ほらご主人はあ♡ ご主人は、今はエッチで頭からっぽわんちゃん、だけどっ♡ かしこい人間だったこともあるんだから、わふっ♡ メスのお仕事、知ってる、んだっ♡ どうなっちゃう、わんっ、種えっ♡ ポチの濃ゆう～い種、汁っ♡ んんっ♡ ほぐほぐオマンコにぶりゅりゅ♡ って出されちゃうの、なんのためって、がるる♡ がうっ、ううう♡ なんで「たねつけ」されたがっちゃうの、ご主人のオマンコ♡ きんたまミルク出してもらえると思うと、お喉裏返してあへあへ鳴いちゃってうれしい、っのおっ♡

☆ポチはかすれた声でペニスの断末魔じみたひたすらな硬直を「ご主人」に意識させる。食いつきあう互いの性器は同時に淫肉を厚く引き締め、のぼりつめる。

(11:52)

……えへ、へへ、あかちゃんっ♡ ポチの「たね」、オマンコふかふかベッドにして受け止めちゃうと、赤ちゃんできちゃうから♡ ほら、ほらおかあさんだよ～っ♡ マゾ♡ 負け♡ メス♡ マンコの♡ おかあさん、わお、おおお、おほっ♡ とろケツ直腸お肉の、おなかのどろどろ「ねんまく」でちゃんと、わかっちゃうわんっ♡ ポチ、ポチのオチンポ、かったあ～い、ふくらんでる、もうイク、あっ種出るのわかっちゃうっ♡ ぶしゅー♡ ってすごい勢いでっ♡

☆人とも獣ともつかない絶叫とともに、達するポチとご主人。犬の子種を受け入れる背徳で悦感
は倍増し、ますます淫肉はきつく絡み合う。

(12:37)

んおお♡ ご♡ しゅじん♡ マンコ「しゅうしゅく」しちやっ♡ がう、うう♡ ポチがイク♡ と
思っ、種い〜っばい出させてあげようと思っ、「はらむ」〜っ、っ♡ ご主人、もうお
かあさんなんだ♡ はっは♡ はっはっは、あ♡ いいよ♡ イっ、ポチも出す、っから、が
るるっ♡ 孕んでいいよ、わおっ♡ おとうさんのお汁、出る、うう出る出る出る、「にんしん」
「ぜっきょう」「あくめ」、ご主人孕ませる、ご主人もっ、イっ孕んで、おおお、わお〜っ♡

☆深い絶頂感を裏付けるようにペニスから尻膣の間を、時間をたっぷりかけて濃精が移動して
いく。鼻汁を垂らすほど滑稽に、しかし真に迫った悦声で喉を引き絞る。

(13:30)

おっ、おっ、おお.....♡ お♡ っへえ、へっへ♡ 出、る、う、オチンポの裏がぶくっぶくっ
て膨れ、でへっ、わう〜♡ オチンポ棒の上にたぶって乗ったきんたまっ、ぶく、ろおお.....
おっ、お♡ しぼって、う♡ 後ろ向きに射精、っぐ、〜♡ うう♡ ご主人のお尻、ポチの尻尾で
ぺちぺち叩いて♡ これポチの〜♡ ポチがおなかたぶたぶ孕ませたメスう〜♡ っ.....がるっ
♡ 交尾っ♡ お外でご主人「どくせん」オマンコマーキング、びゅ〜っ♡

☆手前勝手に放精を終えると、半端に硬度を失ったポチのペニスは雄尻を抜け出してしまう。それ
でもポチは「ご主人」を逃がすまいと、いそいそ背に覆いかぶさり、耳元で口を開く。

(14:32)

わう、出た、出たっ、種付けた、から.....ちんちん、ずるうって、抜ける、っふう〜♡ う、あ、あ、ご
主人、ダメ、逃げちゃダメわん♡ そのまま、ばかになったお尻の穴から、いらないたまたまの裏
に「なかだし」どろどろ汁垂らしたまま、ポチのこと背中に乗っけて、あっ、ひさしぶりのご主人のお
顔♡ わう♡ それで、お耳の近く.....♡

☆ポチは交尾の熱を残したまま、腰をへこへこと振る。「ご主人」が言い返せないのをいいことに
一人よがりな言葉を吐くポチの犬歯から、唾液が「ご主人」の首筋へ伝った.....

(15:19)

あう、〜♡ 出したばかりなのにポチ、お尻が、かくかくしてるよお♡ ずーっと、ねばねばべ
とべとしてる「こだねじる」出したい、おかあさんにしたい、ぐるる♡ ぐう♡ ご主人のことおかあ
さんにできるポチ、かしこい？ すき？ ポチもすき♡ すきだとおちんちん入れて、孕ませたくなっ
ちゃうの、「はつじょうき」っ言うんだっ♡ わんちゃんのは短いのに、人間になっちゃったから
一生おかあさんになれる発情期♡ うれしいね、しあわせだね♡ ポチもしあわせ♡

(16:19)

わう、ね、ご主人、でもここにずーっといると見つかったちゃう、から、早くどろどろのお尻隠して、おパンツ上げて、次のおきにいい交尾場所、いこっ♡ もっと、おかあさんにしてあげる♡ えへへっ♡
いっぱい元気な赤ちゃん作ろうね、ご・しゅ・じ・ん♡ ん～……っ♡

(終わり)